

五 ヤップ島ノ地位及旧独逸海底電線処分問題一件 三五七

ヤップ島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸

島ニ関スル日米条約ノ批准交換完了ノ件

第四五三号

(七月十四日接受)

七月十三日國務省ニ於テ國務長官ト「ヤップ」条約ノ批准交換ヲ了セリ尚其際貴電第三九五号ニ関シ同官ハ米國政府ニ於テハ直ニ(多分十四日)条約ト共ニ交換公文ヲモ發表スベク日本政府ニ於テ右公文ヲ登録セラルルニ何等異議ナシト答ヘタリ

仏國ヘ転電シ各大使ニ電報セリ

三五七

七月十四日 内田外務大臣ヨリ  
在米國佐分利臨時代理大使宛(電報)

ヤップ・グアム線繼續使用ニ付米國側ニ懇談

方訓令ノ件

第三九九号

小笠原「グアム」線ハ現在日米間唯一ノ海底電線ナルガ同線ハ往々故障ヲ生ズルコトアルガ故ニ「ヤップ」「グアム」

三五八

三九六

線ハ尚当分引続キ使用スルコトセバ日米通信上極メテ便利ナルベシト思考セラルル処米國側ニ於テ同線ノ最終処分決定マデ現行条件ノ下ニ引続キ之ヲ使用スル意嚮ナキヤ右当局ニツキ懇談ヲ遂ゲラレ其ノ結果電報アリタシ

三五八

九月十四日 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

ヤップ・グアム線ノ繼續使用問題ニ対スル國

務省回答遅延ノ件

第五九一号

(九月十五日接受)

貴電第三九九号ニ関シ國務省ノ回答遅延シ居ルヲ以テ督促シタル処始メハ係官次ギニハ國務長官不在ノ為未ダ回答ノ運ビニ至ラザル次第ナリ尤モ本件ハ現ニ使用シ居ル「ヤップ」「グアム」線ヲ引続キ使用セントスルニ有ルヲ以テ日本側ニ於テモ強ヒテ回答ヲ急ガルル次第ニモ非ザル可シト答ヘタリ

## 事項六 國際聯盟理事会ニ関スル件(第十六回乃至第二十二回)

三五九

一月十一日 在ジュネーヴ石井聯盟理事会代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

一月十一日ノ理事会ニ於テ國際紛議調停委員

会委員決定ノ件

第二号

(一月十二日接受)

スカンデナヴィア三国ノ提出ニ係ル調停委員會設置案ニ関シ

第二回總會ガ十月四日採用シタル決議案ニ基キ調停委員會ヲ組織スルノ件十一日ノ理事会ニ附議セラレタルガ節約ノ為委員ヲ五名トスルニ決シ次テ秘密会ニ於テ瑞典、白耳義、智利及奧地利代表並日本ヨリ安達大使委員ニ挙ケラレタリ

三六〇

一月十四日 在ジュネーヴ石井聯盟理事会代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

安達大使調停委員會議長二指名サレタル件

第三号

(一月十五日接受)

往電第二号ニ関シ理事会ハ安達大使ヲ調停委員會議長ニ指名シタリ

六 國際聯盟理事会ニ関スル件(第十六回乃至第二十二回)

三五九 三六〇 三六一

三九七

三六一

一月十五日 在ジュネーヴ石井聯盟理事会代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

第十六回理事会ニ於テA式委任統治条項確定

方討論竝婦人小兒売買ニ関スル諮問委員會ニ

本邦代表者指名方招請決定ノ件

第五号

(一月十六日接受)

在英大使宛貴電第七号ニ関シ

今回理事会中英國理事ハA式委任統治条項ヲ確定セント欲シタルモ「メソポタミヤ」ニ関シテハ石油問題等紛糾セル事情アルニ依リ之ヲ措キ「パレスティン」問題ノミヲ提出セルガ伊國理事ハ「セーヴル」条約ノ批准済ム迄本件ヲ議スル能ハズト主張シ仏國理事之ニ賛成セル為メ右提案ヲ撤回シ之ヲ次回(四月二十五日開会)ニ廻ハスコトナレリ貴電第一五号ニ関シ  
婦人小兒売買問題委員會ノ構成ニ付テハ帝國ニ於テモ委員ヲ任命スル様招請セラルコトニ決シタリ  
其他ノ議事ハ總テ書面報告ニ譲ル

在欧米各大使、土耳其へ転電セリ

三六二 一月十九日 在白国安達大使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

國際紛議調停委員會議長承諾方聯盟事務総長  
ヨリ申越セルニ付請訓ノ件

第七号 （一月二十日接受）

在寿府石井大使発貴大臣宛第二号及第三号ニ関シ聯盟事務  
総長ヨリ理事会ノ名ヲ以テ正式ニ國際紛議調停委員會ノ議  
長タルコトヲ承諾アリタキ旨公文ヲ以テ申シ来レリ右委員  
会ハ寿府ニ開催スルモノナルニ付本使ガ昨秋帰任以来折角  
画策中ナル宣伝事業及日白条約締結談判等進捗ノ為ニハ少  
カラザル妨害ヲ来サズヤト懸念セラルルモ右調停委員會委  
員タル三、四名ト内交渉シ成ルヘク本使ニ都合ヨキ時期ヲ  
選ビテ寿府ニ相会スルコトトナスヲ得ハ双方相勤マルヘシ  
ト存セラル「ドラモンド」ニ返答ヲ要スルニ付至急何分ノ  
御回訓相成度尚右議長就任ノ場合ニハ昨春交通總會ノ際ノ  
如ク辞令書ヲ戴ク必要アルニ付之亦然ルベク御取計相成度  
シ

在仏大使へ転電セリ

三六四 三月十八日 在仏国石井大使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

聯盟理事会開会予定期日以前ニ臨時開會方

ニ関シ英仏両政府側ヨリ提議ノ件

聯第三九号 （三月十九日接受）

聯盟理事会ハ四月二十五日ヨリ開会ノ予定ナリシ処英國政  
府ハ四月三日ニ臨時會ヲ開カレ度シト請求シ之ニ対シ「プ  
ルジョア」ハ仏政府ノ意ヲ受ケ臨時會ヲ今週中ニ巴里ニテ  
開キ度シト提議セリ英仏政府共「ゼノア」會議前理事会ニ  
於テ「ゼノア」會議ニ關聯スル問題ノ緊急討議ヲ希望セル  
次第ナリ

三六五 三月二十三日 在巴里松田聯盟帝國事務局長ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

臨時理事会ハ三月二十四日巴里開會ノコトニ

英仏一致決定ノ件

聯第四一号 （三月二十五日接受）

往電聯第三九号ニ関シ

英仏一致ノ提議ニ基キ三月二十四日当地ニ臨時理事会ヲ開  
キ

六 國際聯盟理事会ニ関スル件（第十六回乃至第二十二回）

三六三 二月十五日 在巴里松田聯盟帝國事務局長ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

知的労働委員會本邦委員候補ニ関シ石井聯盟  
理事会代表ヨリ請訓ノ件

聯第一三号 （二月十六日接受）

石井ヨリ

大正十五年十一月九日附本使発貴大臣宛公第五四五号智的  
労働ニ関スル委員會（其後「インターナショナル、インターレ  
クチュアル、コンミッティ」ト称ス）ニ関シ先般ノ理事会  
ニ於テ十二名ノ委員ヲ次回理事会ニ於テ指名スル事ニ決シ  
之カ為メ事務総長ハ理事会ノ參考マテニ高名ノ学者ヲ網羅  
セル表ヲ作製スル事トナリ本件ニ主任者タル新渡戸博士ハ  
不取敢桜井銓二田中館愛橘ノ両博士ヲ右ノ表ニ登載シ置キ  
タル由ナリ依テ政府ニ於テ我國ヨリ委員ヲ出ス御希望ナレ  
ハ本使ハ次回理事会ニ於テ右両博士其他本使ノ選定スル人  
物ヲ指名スヘシ何分ノ御訓電ヲ請フ

尚本委員會ハ五月初ヨリ次回總會迄ニ三回程招集セラルル  
筈ニ付在欧者中ヨリ適當ノ人物ヲ選フ方然ルベシ

一、聯盟ト「ゼノア」會議トノ關係

二、露國避難民問題

三、軍備縮小ニ関スル混成委員會委員ノ増員ニ関スル件  
ヲ協議スルコトニ決定シタリ

三六六 四月二十八日 在巴里松田聯盟帝國事務局長ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

ナンセン委員ガ理事会ニ対シ提議セル君府在

留露國避難民ノ他地方ヘノ移住方ニ関シ事務

総長ヨリ来翰アリタルニ付回答振請訓ノ件

別電 同日在巴里松田聯盟帝國事務局長宛内田外務大

臣宛電報聯第七二号

右露國避難民ノ移住方ニ関シ理事会決議ノ件

聯第七一号 （五月一日接受）

第十七回理事会ニ於テ露國避難民問題高級委員「ナンセ  
ン」博士ハ理事会ニ対シ露國避難民特ニ生活費高ク且ツ職  
業ヲ得ルコト困難ナル「コンスタンチノープル」ニ在ル多  
数避難民ヲシテ夏季ヲ利用シ生活費安ク職業ヲ得ルコト容  
易ナル地方ヘ移住セシムルコト最モ緊急ト認ムルモ之等避  
難民中ニハ適法ノ旅券又ハ身元証明書ヲ有スルモノ少ク又

之ヲ有スルモ之ニ対スル査証ヲ得ルコト困難ナル為容易ニ他地方ニ移住シ得ザル状態ナルニ付各聯盟國ハ右避難民ニ無償ニテ身元証明書ヲ交付スルコト、既ニ身元証明書又ハ旅券ヲ有スル者ニ対シテハ無償ニテ査証ヲ与フルコト並ニ右避難民ノ通過ニ際シテハ無償又ハ可成安価ニテ運送機關ヲ利用セシムルコト等ヲ求メンコトヲ申出デタル處理事會ハ之ヲ容レ別電第七二号ノ如キ決議ヲ為シタリ而シテ今回事務總長ヨリ外務大臣宛ニ理事会ノ決議ニ対シ帝國政府ノ考慮ヲ求メ来ルト共ニ露國避難民問題高級委員ニ於テハ聯盟國ガ右提議ヲ容レ右事業ヲ援助シ以テ露國避難民特ニ極貧ニシテ而モ為ス所ナク君府又ハ他ノ都市ニ在留セル避難民ヲシテ生業ヲ得ベキ地方ヘ移住セシムルコトヲ得シメンコトヲ切望セルコトヲ述ヘ且ツ事態ノ緊急ナルニ鑑ミ出来得ル限り速ニ右提議ニ同意ナリヤ否ヤノ回答アリ度キ旨申来リタルニ付右回答方向分ノ儀御回訓アリタシ

(別電)

四月二十八日在巴里松田聯盟帝國事務局長宛内田外務大臣宛電  
報聯第七二号

露國避難民ノ移住方ニ関シ理事会決議ノ件

聯第七二号別電 (四月二十九日接受)

2. that it should issue visas free of charge to the refugees already in possession of passports or other identity certificates, in particular to the refugees at Constantinople on request of the representative of the High Commissioner;
3. that it should instruct their consular representatives to issue without delay free of charge transit visas for the countries through which the refugees must pass on the way to their country of destination;
4. that it should give every possible assistance to the representatives of the High Commissioner in obtaining rolling stock and all the other transport facilities and food supplies necessary to permit transit of refugees across their territory free of charge if possible and if not under the most favourable conditions.

Matsuda

~~~~~  
三六七 五月六日 在ゼノア經濟財政會議代表ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

六 國際聯盟理事会ニ関スル件 (第十六回乃至第二十二回)

The Council decides that, to facilitate the evacuation of refugees, it is essential that steps should be taken as soon as possible to furnish refugees with identity certificates and visas.

With this object in view, Dr. Nansen having put forward certain proposals, the Council of the League of Nations has the honour to submit them to (blank) Government its favourable consideration as follows:

1. (a) That it should deliver free of charge identity certificates of a kind in annex to the High Commissioners report to the refugees who are on its territory and who desire them;

(b) that it should grant visas for such identity certificates issued by the other Governments on the same conditions and in the same way as it is granted for ordinary passports issued by a foreign Government to its nationals;

(c) that it should make no charge for these visas;

第十八回聯盟理事会代表ニ安達大使ヲ任命方

石井大使稟請ノ件

第一六四号

(五月七日接受)

石井ヨリ

来ル十一月ヨリ「ジュネーヴ」ニ於テ理事会開會ノ処当地會議ハ目下對露問題成否分水嶺ニ在ル故ニ理事会代表ハ安達大使ニ命セラレ度時日切迫ノ折柄至急御詮議ヲ請フ  
仏國及白國ノ転電セリ

~~~~~  
三六八 五月六日

在ゼノア經濟財政會議代表ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

第十八回聯盟理事会開會ニ出席方石井大使ヨリ

リ安達大使ニ要請シタル件

第一六六号

(五月七日接受)

本官發白國宛電報第一一八号

石井ヨリ

大臣宛往電第一六四号ニ関シ

時日切迫ノコト故本省ノ命令届カザレバ之ヲ俟タズ十一日ノ開會ニ間ニ合フ様御出發願ヒタシ尚露西亜問題ヲ除キ当方會議事項全部終了ニ付武者小路ハ急ギ帰任セシム可シ

三六七 三六八

四〇一

六 國際聯盟理事會ニ関スル件（第十六回乃至第二十二回）  
仏へ転電セリ

三六九 五月八日 在巴里松田聯盟帝國事務局長ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

知的労働委員會本邦委員指名方ニ関スル件

聯第八〇号 （五月九日接受）

往電第一三三号ニ関シ次回理事會へ来ル十一日ヨリ開會ニ付  
何分ノ義至急御回訓アリタシ

三七〇 五月十一日 在ジュネーヴ安達聯盟理事會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

第十八回聯盟理事會出席ノ為壽府ニ出張ノ件

第一号 （五月十二日接受）

本使第十八回聯盟理事會出席ノ為坂本、森山同伴十日「ジュネーヴ」ニ到着セリ三枝書記官ハ同日「ゼノア」ヨリ  
「ジュネーヴ」ニ来著セリ

三七一 五月十七日 在ジュネーヴ安達聯盟理事會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

第十八回聯盟理事會終了ニ関スル件

第九号 （五月十八日接受）

第十八回理事會ハ十七日午後ノ會議ヲ以テ終了ス本使ハ二

三六九 三七〇 三七一 三七二 四〇一  
十三日ヨリ開會セラルル調停手續研究委員會ノ準備ヲ為シ  
ツツ此所ニ滞在ス 仏「ゼノア」へ転電セリ

三七二 五月十八日 在ジュネーヴ安達聯盟理事會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

阿片委員會報告者提出ノ報告ヲ討議及承認ノ件

第一〇号 （五月十九日接受）

理事會ニ提出セラレタル阿片委員會ノ報告ニ関シ支那理事  
ハ右委員會ニ於ケル白国委員ノ主張ヲ支持スル覺書ヲ提出  
シ報告委員「イーマンス」ハ之ヲ容レテ（一）支那ニ於ケル罂粟  
栽培阿片取引ノ復活ハ其條約上ノ義務ニ違反シ聯盟国タル  
ノ責務ト両立セザルコトヲ声明セル阿片委員會決議ノ一節  
ヲ削ルコト（二）支那政府ニ於テ組織スベキ阿片問題現況調査  
委員會ニハ聯盟ノ代表者ヲ参加セシムベシトノ勸告ニ就テ  
ハ北京ニ於ケル國際禁煙會ノ代表一名ヲ支那政府ニ於テ其  
委員ニ任命シ其特別ノ報告ヲ支那政府ヲ經テ聯盟ニ提出セ  
シムル様招請スルコトニ改ムルコト（三）阿片委員會ノ報告ハ  
公表セズ理事會ノ是認ヲ經タルモノヲ發表スルコトニ改ム  
ルコトノ三点ヲ除ク外阿片委員會ノ報告ヲ是認スルコトヲ  
提案シタリ本使ハ同委員會決議第七條ニ於テ帝國委員ガ私

ナキ立場ヨリ多大ノ國際的協力ヲ為スベキ責任ヲ受諾セル  
事實ヲ指摘シ特ニ支那ガ聯盟ヨリ派遣スル代表ヲ其調査班  
ニ加ヘ其援助ヲ歡迎スルコトノ有利ナルコトヲ支那理事會ニ  
勸告シタルモ彼ハ其從來ノ行懸ニ鑑ミ到底受諾シ得ザル旨  
ヲ述ベタルニ異論ヲ唱フルモノナカリシ故本使ニ於テモ強  
テ主張スルコトヲ見合セ報告委員ノ提案ヲ通過セシメタリ  
尚阿片委員會ノ成績ニ関シ本邦委員ノ率直寛容ナル態度ハ  
一般ニ良好ナル印象ヲ与ヘ事務局側ニ一任「クラウデー」  
ハ三枝ニ対シ日本理事會ガ支那理事會ト同一ノ歩調ニ出デ折角  
ノ効果ヲ傷ケザル様切望シタリ

三七三 五月十九日 内田外務大臣ヨリ  
在ジュネーヴ安達聯盟理事會代表宛  
（電報）

聯盟理事會會議事ニ関シ議題及決定ノ要領ハ電

報セラルル様指示ノ件

第一五号

理事會ノ議事ニ関シテハ最近殆ト書面ノミヲ以テ報告セラ  
ルル処書類ノ到着ヲ待ツトキハ會議終了後二箇月余ヲ経ル  
ニ非ザレバ議事ノ内容ヲ知ルコトヲ得ザル等執務上不便ヲ

六 國際聯盟理事會ニ関スル件（第十六回乃至第二十二回）

感スル場合モ少カラザルニ付テハ曩ニ石井理事ヨリ重要事  
項ノミニ付電報スヘキ旨御申越ノ次第ハアリタルモ今後ハ  
議題及之ニ対スル決定ノ要領ダケハ必ズ電報セラルル様致  
度ク不取敢今回ノ會議ヨリ右様御取計相成度シ  
仏へ転電アリ度シ

三七四 五月二十四日 在ジュネーヴ安達聯盟理事會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

第十八回理事會ニ於テ討議決定シタル事項既

報分ヲ除キ報告ノ件

第一四号 （五月二十六日接受）

貴電第一五号ニ関シ既ニ報告済ノ分ヲ除ク外第十八回理事  
會ノ經過左ノ通り

一、婦人小兒売買問題委員會ハ六月二十八日開會ノ事ニ決  
ス

二、第二回總會ハ南米ニ聯盟事務局支部ヲ設ケ連絡ノ任ニ  
当ラシムル事ヲ決議シタルガ次回總會ノ節其所在地ヲ決定  
スル迄南米人二人ヲ採用シテ事務局内ニ右支部ヲ仮ニ設置  
スルコトニ決ス

三、「ワルソー」國際衛生會議ニ聯盟ノ書記官ガ協力シタ

三七三 三七四

四〇三

ル為シタル費用四万金法ハ聯盟ノ負担ト為ス但シ本件ハ先例ヲ構成セズ

四、第十四回十六回及今回理事会ニ亙リテ懸案トナリタル「サルヴァドル」政府ノ分担金支払拒否ノ件ハ利害關係ノ一般的ナルニ鑑ミ第三回總會ニ附議スル事トス

五、國際司法裁判所

(イ)其經理ニ関シ(一)本年度中ハ在「ハーグ」「アムステルダム」銀行ヲ取引先トシ之ニ対スル毎月一日ノ預金最高ヲ拾万「フロリン」トスル système d'avances permanentes ヲ採用シ出納ハ所長ト書記長トニ於テ之ヲ掌ラシムルコト(ニ)來年度ヨリハ裁判所予算ノ十二分ノ一ヲ毎月事務局ヨリ配附スル事ノ可否 Commission de contrôle ニ諮問スルコトヲ提議セル事務総長覺書ヲ是認ス

(ロ)其職員ノ給与ニ関シ裁判所規程第三十一条第三項ニ依リ選出セラレタル予備裁判官以外ノ裁判官ハ予備裁判官ト同一ノ日当及旅費ヲ受クベキコト第二十六条ニ基キ召喚サレタル専門補佐員ハ判事ト同一ノ手当及旅費並予備判事ヨリ少キ日当ヲ受クルコト其他ノ交通事件補佐員等ハ裁判所ヨリ召喚セラレタル場合ニハ第二十六条ノ補佐員ニ準ズルモ

当ノ慰藉ヲ贈ル様事務総長ニ依頼ス

八、事務総長ハ聯盟經費ノ払込状況ノ不良ナルコトヲ示セル覺書ヲ提出シ理事会ニ代表セラレタル諸國ガ規約第六条ニ(脱)成案ヲ速カニ批准センコトヲ希望シタリ

九、「アルバニア」調査委員ノ最後ノ報告ヲ了承シ之ヲ聯盟國全部ニ送附スルニ決ス又「バルフォア」ノ提議ニ基キ急ニ調査委員全部ヲ引揚グル時ハ如何ナル結果ヲ生ズベキ(脱)虞アルニ依リ其一員「ゼーデルホルム」ヲ引続キ「アルバニア」ニ駐在セシムルコトヲ可決シ「コリツァ」市及其附近ノ村落ハ大多數「アルバニア」人ナルニ依リ此事実ヲ指摘セル調査委員ノ報告ヲ大使會議ニ通報シテ希臘トノ國境ヲ現実ニ劃定スル際考慮ニ加ヘンコトヲ求ムルニ決ス十、「アルバニア」代表ガ其政府ノ負担ニ於テ財政法律教育問題ニ堪能ナル顧問ヲ五年間雇傭シ度キニ付聯盟ニ於テ適任者ヲ推薦セラレタシトノ要求ヲ了承シ「アルバニア」ニ外資ヲ輸入スルノ方法ヲ考究スベキ調査委員ヲ派遣スルコト財政顧問ヲ推薦スルコトノ二件ヲ財經委員會ニ附議シ其他ハ追テ考慮スルコトトス

十一、第一回聯盟總會ハ波羅の諸州及「アルバニア」ガ聯

係爭國ノ要求ニ基キ出廷スル場合ニハ當事國ノ負担トスルコトヲ總會ニ提議スル為 Commission de contrôle ニ成案ヲ提出セシムルコトニ決ス

(ハ)訴訟費用ヲ當事國ヨリ徴収スルノ可否及其料金額ニ付裁判所ノ意見ヲ求ムルコトニ決ス

(ニ)裁判官ノ席次(裁判所長ノ來信ニハ大使ノ次ギ公使ノ上トアリタリ)ニ関シテハ和蘭國政府トノ取極ニ一任スルコトニ決ス

(ロ)其書記長ノ給与ニ関シ裁判所ハ聯盟事務局ノ部長ニ準ジ二万七千「フロリン」ヲ支給セン事ヲ要求シタルニ多額ニ失ストノ意見アリテ Commission de contrôle ノ意見ヲ求ムルニ決ス

六、(イ)「オート、シレジ」混成委員會議長ニハ「カロンデル」ヲ一年間任命ス

(ロ)其仲裁々判所長ニハ「カツケンベック」ヲ任命ス

(ハ)独波會議ニ議長タリシ「カロンデル」ノ成功ヲ祝シ謝意ヲ表スル書翰ヲ發送スルコト及同氏ニ謝礼トシテ一万五千瑞西法ヲ贈与スルニ決ス

七、「アルバニア」調査委員「ジニツフェル」未亡人ニ相

盟ニ加入スル場合ニハ少数民族保護條約ノ原則ヲ受諾セン

コトヲ勧告スル旨決議シ「アルバニア」ハ千九百一十一年十一月二日理事会ノ前ニ於テ少数民族保護ニ関スル声明ヲナシ其批准書モ寄託サレタルガ其(不明)政府ハ人種宗教言語上ノ少数民族ノ宗教、教育及慈善団体ニ関スル法制ノ詳細ヲ六個月以内ニ理事会ニ報告シ其勧告ヲ考慮ニ入ルルヲ要スル処「アルバニア」ニ於テハ右ニ関スル立法制定中ニシテ未ダ其報告ヲ提出シ得ザルニ付先ヅ伯刺西爾理事ヲ本件ノ報告委員ニ任命シ次回ニ其報告ヲ審議スル事トス十二、前項ト同一ノ事情ニ依リ「リスアニア」ガ理事会ノ前ニ於テナスベキ声明ハ前回理事会ノ決定ニ基キ報告委員伯刺西爾「リスアニア」代表ト事務局側ト交渉ノ結果九個條ヨリ成ル確定案ヲ得伯刺西爾理事之ヲ朗読シ「リスアニア」代表ハ誠實ニ之ヲ履行スル旨ヲ声明シタリ尚波蘭代表ハ國籍選択ノ自由ヲ確保スル一項ヲ挿入センコトヲ要求スル覺書ヲ提出シタルガ「リスアニア」代表ヨリ右ハ波蘭「リスアニア」間一般平和條約ノ締結ニ際シ協定セラルベキ事項ナリトノ言明アリ理事会ハ之ヲ諒承スルニ止ム十三、B及C式委任統治地域土人ノ國籍問題ニ関シ報道ヲ

蒐集シタル委任統治委員会分科会ハ其報告ヲ提出シタルガ理事会ハ之ニ基キ妥当ナル解決案ヲ発見シ理事会ニ提議スル様右委員会ニ委嘱ス

十四、婦人小兒売買問題ノ調査委員長ニ「ビート」博士ヲ任命ノ件ニ関シ其任期ハ三年ヲ下ラズ聯盟ノ其他事務ヲモ能フ限リ主宰セシムベキ旨ヲ約束シ速ニ承諾センコトヲ求ムル書翰ヲ発スルニ決ス又其任命ヲ見ル迄現在ノ調査委員ニテ婦女小兒ノ調査事務ヲ継続セシムルコトヲ決議ス

十五、「リスミア」ト同様ニ「レットニー」ガ理事会ノ前ニ於テ為スベキ少数民族保護ニ関スル声明ハ尚解決ヲ要スル難問題アル故延期ニ決ス

十六、國際司法裁判所規程第三五条ニ準拠シ聯盟国タラズ又ハ規約ノ附屬書ニ記載セラレザル国家ニ裁判所ヲ拡張スルノ条件ハ当該国力規約規程及内規ニ準拠シ裁判所ノ管轄權ヲ認め判決ヲ忠実ニ実行シ是ニ服スル国家ニ對シテ戦争ヲ為サザル旨ノ宣言書ヲ記録課ニ提出スレバ足ルコトニ決ス

十七、「ウィルナ」地方ニ「プレビシット」ヲ行フ筈ナリシ理事会ノ決議ハ中止セラレタルモ同地ニ派遣セラルベカ

リシ國際軍ニ参加セシムル為瑞典及丁抹ハ理事会ノ要求ニ依リ義勇兵ヲ募集シ暫ク是ヲ維持シタリ理事会ハ軍隊ノ平常維持費ヲ超ユル支出ヲ聯盟ニ於テ負担スベキ事ヲ約セルガ故ニ瑞典ハ拾四万七千「クローネ」余ノ、丁抹ハ六万「クローネ」余ノ弁償ヲ要求シ来レリ依テ理事会ハ右金額ヲ次年度支出予算ニ計上シ同時ニ波蘭「リスミア」ニ向ッテ其償還ヲ請求スルコトニ決ス

十八、國際司法裁判所ノ意見ヲ求ムル為

(イ) 仏国ノ提議ニ基キ國際労働機関ノ権能ハ農業労働者ニモ及ブヤ否ヤノ件

(ロ) 労働總會及理事会ノ要求ニ依リ第三労働總會ニ於ケル和蘭ノ労働代表ハ「ヴェルサイユ」条約第三八九条ニ準拠シテ任命セラレタルモノナリヤ否ヤノ件ヲ附議スルニ決ス

十九、調停手續研究委員會員

Alvarez ノ代リニ在巴里「ヴェネズエラ」公使 Gil Fartuol ヲ任命ス

二十、財政經濟委員會ノ報告ニ関シ

(一) 三月寿府ニ開会セラレタル經濟部会ノ報告ニ付テハ(イ) 商事契約中ニ挿入スヘキ仲裁条項ノ要点ヲ吟味スル為分科会

ヲ設ケタルコトニ満足ノ意ヲ表シ(ロ) 為替手形法ノ統一ヲ期スル為國際會議ヲ開クヘシトノ建議ニ関シテハ從來和蘭政府ガ本件ニ尽瘁セル關係上右會議招集及其ノ準備ノ為經濟部会トノ協力方ヲ和蘭政府ニ交渉セシムルコトトシ(ハ) 通商ノ公平待遇問題ニ関シテハ經濟部会ノ結論ヲ是認シ分科会ヲ設ケタルコトニ満足シ(ニ) 不正競争ノ防止ニ関シテハ經濟部会ノ報告ニ國際條約案ヲ添ヘテ之ヲ各国ニ配付シ特ニ聯盟国ニ對シテハ修正意見ヲ求メ必要有レバ各国政府ノ専門家ト交渉ヲ開クノ権能ヲ經濟部会及事務総長ニ付与シ工業所有權聯合ニ加入シ居ラザル聯盟国ニ對シテハ速ニ之ニ加盟センコトヲ勧告スルニ決ス（往電聯第四九号参照）

(二) 二月三月ノ交開会セラレタル財政部会ノ報告ニ付テハ(イ) 二重課税問題ノ研究ノ為執リタル手續ヲ是認シ(ロ) 財政年報刊行ノ為各国力出来得ル限資料ヲ供給セムコトヲ要望シ(ハ) 各国政府ニ顧問推薦ノ件ニ関スル一九二一年三月二十一日ノ理事会ノ決議実行ノ為審議スル所アリタルニ満足シ(ニ) 第二總會ガ「ブラッセル」財政會議ノ決定実施ノ為各国政府カ如何ナル手段ヲ現ニ執リタルヤニ付緊急調査ヲ為サムコトヲ要求シタル件ニ付財政部会カ執リタル処置ヲ是認シ右

調査完成ノ為聯盟国ガ協力セムコトヲ切望シ(ハ) 「フレーザ」ノ目論見ヲ基礎トセル國際信用計画ヲ続行スル為執リタル手段ヲ是認シ同氏ノ熱心ト力量トヲ推賞シテ其ノ任期ノ尽キタルヲ遺憾トシ(ハ) 国内法ヲ以テ喪失又ハ盜失セラレタル証券(名称ハ追テ通報ス)ニ一定期間ヲ限リ戦時喪失又ハ盜失セラレタル証券ニ関スル仏国法ト同一ノ法律上ノ効力ヲ付与セムカ為ニハ如何ニスベキヤヲ考慮セムコトヲ各

國政府ニ要求ス各國政府ハ勿論異議ノ申立デニ逢ヒタル証券ノ所持人ヲ搜索スル手段ヲ尽サザルベカラズ右決議ハ之ヲ聯盟国ニ回付シテ其実行ヲ勧告シ且其ノ所見ヲ回示セム

コトヲ求ムルコトトス(ハ) 埃國財政狀況ニ関シテハ財政部会ノ決定ヲ是認シタリ（聯本公第一〇〇号参照）

二十一、聯盟ト「ゼノア」會議トノ關係ニ付「ブルジョア」ノ提議ニ基キ「ゼノア」會議ノ決議ガ聯盟ニ送附セラレタルトキハ之ヲ専門機關ニ廻付スル様總長及事務総長ニ委嘱スルニ決ス

二十二、經濟委員會改訂委員十二名ノ処現議員九名ニ過ギザルニ依リ「プラーグ」外務省經濟部長 Jean Dvoracek 及濠洲人 Campion ヲ任命シ尚他ノ一員ヲ挙グルコトヲ議

長ニ委任ス

二十三、「ヴィルナ」軍事監督委員會ノ報告ヲ印刷シ聯盟國ニ配布シ且交換スルニ決ス

二十四、「エストニア」ノ少数民族保護ニ関スル声明ノ件（脱）シタル九ヶ条ノ声明ハ其ノ第九条ノ規定ニ從ヒ其ノ人種、言語、宗教上ノ少数民族ノ保護ニ関スル限り國際義務ヲ構成スルモノトシテ其ノ批准ノ日以降聯盟ノ保障ノ下ニ置カルベキ旨決議ス

二十五、（欠）

二十六、「ダンチヒ」諸問題

(イ)同市ノ憲法改正案ハ其ノ国会ヲ通過セザルニ依リ高級委員ハ「ヴェルサイユ」条約第百三条ニ基ク権能ニ依リ理事会ノ改正提議ヲ受諾シ施行スル旨ノ報告案ヲ提出シ理事会之ヲ是認ス

(ロ)同市ノ經濟上ノ苦境ヲ救ハンガ為ニ軍用飛行機材料ノ政策ニ関スル制限ヲ撤廃又ハ緩和センコトヲ要求シタル下院議長ノ書簡ニ関シテハ曩ニ此問題ヲ軍事委員會ニ諮問シタルシガ其ノ意見ニ基キ何等緩和又ハ變更シ得ザル旨回答スルニ決ス

其實現セラレテ効力ノ發生ヲ見ル迄波蘭獨逸間ニ現存スル暫行協約ヲ「ダンチヒ」ニ適用スル事トシ「ダンチヒ」代表ハ其ノ聯盟ニ対スル訴ヘヲ撤回シタリ

(ハ)波蘭カ「ダンチヒ」ノ外交關係ヲ処理スルニ付準拠ス可キ根本原則ヲ高級委員ガ決定シタルニ対シ兩当事國ヨリ各々其ノ立場ヲ有利ナラシムル論拠ヲ挙ゲ論争シタル件ニ付テハ報告委員ノ主宰ノ下ニ係争國代表ノ商議ヲ開ク事トナリ右決定ノ解釈ニ付円満ナル了解ヲ遂ケ其ノ聯盟ニ対スル訴ハ撤回セラレタリ

(ニ)同市ニ於ケル波蘭國有財産管理及船舶ノ法律上ノ地位ニ関シ高級委員ノ与ヘタル決定ハ聯盟ニ対スル波蘭ノ訴ヲ見ルニ至リタルカ報告委員ノ主宰ノ下ニ商議ヲ開ク事トナリ右商議ノ結果トシテ七箇条ノ取極ヲ為シ波蘭ハ其ノ訴ヲ撤回シタリ

(イ)同市ノ財政ニ関シ財政部會ノ報告提出セラレタルニ依リ（聯本公第一〇〇号参照）報告委員ノ報告ト併セ之ヲ同市政府ニ回附シ其ノ所見ヲ叩クニ決ス

二十七、露國ノ饑饉ニ関シ調査委員會ヲ任命セムコトヲ諾威政府ヨリ提議シタル件ハ前回ヨリノ懸案ナリシガ同國代

六 國際聯盟理事会ニ関スル件（第十六回乃至第二十二回）

三七四

四〇九

(ハ)同市ノ港務部ニ引渡ス可キ前獨逸帝國ノ財産ニ関シ波蘭及「ダンチヒ」ハ賠償委員會ニ対シ債務ヲ負フニ至レルモ其ノ引渡後他ニ移轉セラレザル事本来ノ目的ニ使用セラルル事等ニ関シ何等保障ヲ取付ケ居ラズ右ハ他日兩國ニ不利益ヲ来ス可キニ依リ二國間ニ協定ヲ遂クル様大使會議ヨリ注意ヲ喚起シ来リタルカ故ニ此ノ書翰ヲ「ダンチヒ」及波蘭政府ニ送附スルニ決ス

(ニ)「ヴィスチュラ」河ノ管理權問題ハ次回ニ延期ス

(ロ)同市ニ於ケル波蘭人ノ追放問題ニ関シテハ高級委員ヲ交ヘテ當事者國代表間ニ商議ヲ開催スルニ決ス本件ハ「ダンチヒ」波蘭協約（一九二一年十一月二十四日）第二十九条ニ「ダンチヒ」カ適法ニ追放ヲ為シ得ル場合ヲ列挙シアリテ其ノ事實ノ認定權ハ「ダンチヒ」ニ專屬セリヤ否ヤノ解釈上ノ爭議ニ關係セリ

(イ)同市ガ其ノ成立前獨逸ト締結シタル裁判關係ノ協約ハ波蘭之ヲ批准セズ懸案トナレル処報告委員タル本使ノ主宰ノ下ニ波蘭「ダンチヒ」代表間ノ商議ヲ開ク事トシ其ノ結果波蘭ハ獨逸ト裁判關係ヲ規定スル協約ヲ締結スルト同時ニ「ダンチヒ」ノ為メモ亦類似ノ協約ヲ締結ス可キヲ約シ

表「ナンセン」ノ説明アリタル後「バルフォア」ノ提議ニテ本件ヲ「ゼノア」會議又ハ其構成スヘキ委員會ニ回付シテ審議ヲ要求スルコトトナリ右ニテ本件ニ關係セサル場合ニハ理事会ニテ自ラ審議スヘキ諒解ノ下ニ「ナンセン」モ同意ス

二十八、「ヴィルナ」地方ヨリ軍事監督員ヲ引上ケ中立地帯ニ代フルニ仮境界線ヲ以テスヘキ旨ノ理事会ノ決議ハ「リスアニア」之ヲ承諾セザリシカ「イーマンス」ノ提議ニ基キ中立地帯ハ軍事上ノ意義ニ於テハ其儘之ヲ維持シ裁判上行政上ノ便宜ニ資スル為メ仮境界線ヲ定ムコトヲ改テ勸告シ其ノ予備的調査ヲ為ス為委員ヲ派遣スルニ決シ波蘭人ガ「コブノ」ニ於テ「リスアニア」人カ「ヴィルナ」ニ於テ訴追サレ追放サルル旨ノ波蘭、リスアニア兩國ノ訴ニ関シテハ兩國政府ガ寛容ノ精神ヲ以テ政治犯人ヲ赦免セムコトヲ要求スルニ決ス之ニ対シ「リスアニア」代表ハ中立地帯ヲ存シ聯盟ノ高級委員ヲ任命シテ之ヲ監視セムコトヲ要求シテ理事会ノ決定ニ服セザレトモ理事会ハ右委員ヲ派遣スヘキハ勿論ナリ

二十九、一九二三年度予算ヲ「コミッション、コントロー

六 國際聯盟理事会ニ関スル件 (第十六回乃至第二十二回)

ル」ノ意見書ト共ニ各国ニ配布スルコトヲ事務総長ニ委任シ理事会ノ右予算ヲ是認スルヤ否ハ次回ノ決定ニ譲ルコトス

三十、「チェックスロヴァキー」政府ト Bank of Baring Brothers トノ間ニ締結セラレタル六百十萬磅ノ借款契約ニハ将来何等紛議起リタル場合ニハ其仲裁ヲ理事会ニ委嘱スル旨ノ約款アリ兩当事者ヨリ理事会ノ留意ヲ請ヒ来リタルニ付右ノ責任ヲ取ルノ可否ヲ財政委員會ニ諮問スルニ決ス

三十一、「オー」ニ関スル独波条約第三編少数民族保護ニ関スル規定ハ之ヲ聯盟ノ保障ノ下ニ置クコトニ決定ス

三十二、俘虜送還事業ニ関スル聯盟ノ高級委員「ナンゼン」ハ平明丸ヨリ「アシナラ」島ニ上陸シタル土耳其兵ハ「コンスタンチノーブル」並ニ「アングラ」政府カ軍務ニ服セシメサルノ保障ヲ与ヘラレタル結果近ク其ノ家郷ニ歸リ得ヘキコト及ヒ露國ニ尚四千ノ俘虜アルモ七月中ニ其送還ヲ終ルヘキ旨報告ス

三十三、軍備制限ニ関スル混成委員會ノ欠員ヲ補充シ一個月以内ニ会合セムコトヲ要求スルニ決ス

三十七、次回通常理事会ハ總會開会ノ一週間前ニ会合スルコトニ決ス

三十八、「パレスティン」委任統治ニ関シ理事会ニ宛テ羅馬法王ヨリ「カトリック」教ノ地位及利益ヲ尊重セラレタキ旨來信アリタルニ対シ適當ノ考量ヲ加フベキ旨返答スルコトニ決ス

三十九、「ザール」流域行政委員ノ任期ヲ二年トシタル理事会ノ決定ニ関シ独逸政府ヨリ右ハ「ヴェルサイユ」条約第五十条附録第十九号違反ナリト抗議シ来リタルニ対シ其然ラザル次第ヲ回答スルコトニ決ス

三七五 七月四日 在白國安達大使ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

調停委員會ノ報告ハ理事会ニ於テ承認ノ見通

ニ付右理事会ニ出席セザルベキ旨稟申ノ件

第八〇号 (七月六日接受)

往電第七三号ニ関シ頃日再度英國ニ渡リ「バルフォア」卿ニ面会シタル「ドラモンド」ノ内報ニ依レハ調停委員會ノ報告ハ最も適切且ツ明瞭ナレバ聯盟理事会ニ於テハ多分何等ノ異議ナク之ヲ承認シ其儘第三回總會ノ議ニ附スルコトト

六 國際聯盟理事会ニ関スル件 (第十六回乃至第二十二回)

三七四

四一〇

三十四、「ワルソー」衛生會議ノ決議ニ関シテハ「ゼノア」會議ノ決定判明次第之ヲ理事会員ニ通報スルコト及ヒ該會議ニ代表セラレタル利害關係國ト交渉シテ歐洲ノ衛 (以下脱)

三十五、軍用器材ノ提議、剩余兵器ノ破壊及民業ニ依ル兵器ノ製造ニ関スル軍事委員會議長ノ報告ヲ聴キタル後一ト三トヲ混成委員會ニ附議シ二ハ之ヲ諒承スルニ止ム尚空軍委員會ノ報告ヲ聴キタル後「バルフォア」ノ提議ニテ武器取引条約ノ批准ノ状況ニ関シ事務総長ニ報告ヲ提出セシムルコトニ決ス (聯軍第五号参照)

三十六、波蘭ニ於ケル独逸ノ少数民族問題ニ関シテハ伊、白、日理事ヨリ独逸移民ノ愁訴ヲ引用シテ波蘭政府ノ釈明ヲ求メムトスル点ヲ列挙シタル報告ノ提出アリ理事会ハ之ヲ是認シ右ニ関シ事實及法理ノ見地ヨリ波蘭政府ノ所見ヲ叩キ波蘭代表カ事務総長ト共ニ右三国政府ハ如何ナル法律問題ニ関シ國際司法裁判所ノ意見ヲ徵スベキモノナルヤヲ吟味セムコトヲ求メ且又理事会ノ決定アル迄独逸農民ニ不利益ヲ被ラシムル行政上司法上ノ処分ヲ為サザル様要求スルニ決ス

ナルヘク尚英國政府ハ國際聯盟英國協會ノ意見 (往電第七三号) ニ動カサルガ如キコトナカルベキニ依リ本使カ委員會ノ議長トシテ今回ノ理事会ニ出席スルノ必要ナルベク唯万一二備フル為メ報告委員タル「ド、ヴィセル」ノ出席ヲ求ムルコトナルベキ趣ナルニ付何等反対ノ御訓令ナキ限り倫敦ニ於ケル聯盟理事会ニ出張セザル積ナリ御含迄英仏ヘ転電セリ

三七六 七月六日 在巴里松田聯盟帝國事務局長ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

第十九回聯盟理事会倫敦開催ノ件

聯第一二三号

次回理事会ハ十七日倫敦ニ招集セラル右ハ主トシテ「バルフォア」氏ノ都合ニ依ル由

三七七 七月十九日 在英國林大使ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

第十九回聯盟理事会開催並聯盟經費委任統治及國境劃定等ニ付討議ノ模様石井理事会代表ヨリ報告ノ件

聯第一号

(七月二十日接受)

三七五 三七六 三七七

四一一



石井ヨリ

十七日「セント・ジェームス、パレース」ニ十九回理事会開会

(一) 寿府安達大使發電第一四号ノ五ニ関シ(ロ)ニ就テハ監督委員ノ報告ニ基キ専門補佐委員ノ日当手当ハ之ヲ合計百三十五「フロリン」トスル事ニ修正シテ次回總會ニ提案スルニ決ス(イ)ノ(二)ニ就テハ監督委員ノ報告ニ基キ國際司法裁判所ヲ労働事務局ト全ク同一ニ扱ヒ聯盟予算ノ現実払込ミ額ヲ右裁判所ノ予算ニ按分比例シテ之ニモ配当スル事及聯盟ノ運転資本ニ付テモ同一割合ノ配当ヲ為ス事ニ改メ次回總會ニ提案スルニ決ス(ホ)ニ就テハ二万二千「フロリン」ト決定ス

(二) 前記往電ノ二十九ニ関シ予算ノ内容ノ審査ヲ見合セ次回總會ノ節修正ヲ加フルノ權ヲ理事国代表ノ為留保スル事トス

(三) 同六ニ関シ監督委員ノ報告ニ依リ事務総長ハ三百三十五磅ヲ贈与セルヲ以テ之ヲ予備費ノ項ヨリ支出スルニ決ス

(四) 同十四ニ関シ「ビート」ノ承諾ヲ得ザルニ依リ暫ク

前回ノ決議ヲ維持スルニ決ス

(五) 同一及聯第一二二号ニ関シ右委員會ノ報告ヲ全部是認ス

(六) 「ヴェルサイユ」条約第三百十二条ニ規定セラレタル官營保險及社会保險準備金ヲ独逸政府及波蘭政府ニ分与スル件ニ関シ同第四項ニ規定セラレタル委員會ヨリ報告ノ提出アリ理事会ハ之ヲ採択ス右ニ依リ独逸ヨリ波蘭ニ引渡ス可キ金額ハ一億二千五百万紙幣馬克ナリ

(七) 仏国ガ第二回總會ノ際採用シタル聯盟經費分担標準ヲ批准セザル結果右標準調査委員會ハ新タニ会合シ報告ヲ提出スル所アリ理事会ハ之ヲ聯盟国ニ移牒スルニ決ス右報告ニ依レバ英、仏ハ九〇「ユニット」ヨリ九五「ユニット」(脱)日、伊ハ六五「ユニット」ヨリ七五「ユニット」ニ上リ支那ハ六五「ユニット」ニ止マル但右ハ歳出入其他一般ノ標準ノミヲ基礎トシタル結果ニシテ尚之ニ戦争ニ依ル荒廢ヲ考慮ニ加フルヲ正当トスルガ故ニ仏国ハ七八「ユニット」伊太利ハ六一「ユニット」トス

(八) 一九二一年會計検査報告ヲ是認シ之ヲ次回總會ニ提出ス

(九) (b)式「マンダー」ニ関シ英仏及白ヨリ各修正委任統治条項ノ提出アリ本使報告委員トシテ是等ヲ規約第二十五条ニ適合セシメ(c)式条項ニ一致セシムル様數箇ノ修正ヲ提議シタルニ各理事大体異議ナク字句ヲ一層良ク(d)式「マンダー」ニ符合セシメ且英仏文ヲ調和セシムル為各委任統治国ヨリ委員ヲ出シ協議セシムルコトトシ我ヨリ三枝ヲ出セリ右「マンダー」中信教ノ自由並布教權ニ関スル規定ハ英ガ米ノ主張ニ譲リテ「ヤップ」島ニ関スル日米条約ノ字句ヲ採用シタル結果仏白モ是ニ倣フニ至レリ

因ニ「バルフォア」ノ言ニ依レバ(A)式「マンダー」「メソポタミヤ」ニ関スル英米ノ商議ハ未ダ落着ニ至ラズ「パレストアイン」ニ関シテノミ完全妥協ヲ見タリト言フ

(十) 規約十条ト十八条トノ改正問題ハ委員會ニ於テ既ニ議論ヲ尽シタルヲ以テ其改正ノ要否及時期トモ右委員會議長ノ裁量ニ委ス

(十一) 調停手續研究委員會報告(寿府安達大使發電報第一六号)ヲ審查シ其第九条第一項 saisi 以下 par l'une des parties conformément à l'Article 15 du pacte ト改メ第三項 トンテ Dans l'un et l'autre cas, la Commission

六 國際聯盟理事会ニ関スル件 (第十六回乃至第二十二回)

三七七

四二二

pourra, à l'expiration de ce délai, appeler l'attention du Conseil sur les différends dont elle n'a pu assurer le règlement ヲ追加シタリ

(十二) 寿府安達大使發電報第一四号ノ十八(f)ニ関シ仏政府ハ労働總會ノ提議ニ基キ労働理事会ガ農業生産改善ノ方法ヲ審議セルヲ越權ナリトシ農業生産手段ノ組織及改善ヲ企図スル諸提案ノ審査等ハ國際労働機関ノ權能ニ屬セリヤトノ質問ヲ出シテ國際司法裁判所ノ意見ヲ求メンコトヲ要求シ仏理事「ヴィヴィアニ」ト労働事務局長トノ討論アリタル後理事会ハ右要求ヲ容ルルニ決シタリ

(十三) 十九日午前A式「マンダー」ノ審議ニ入ルヤ「ヴィヴィアニ」ハ「パレストアイン」ニ対スル「マンダー」ヨリモ「シリア」ニ関スル「マンダー」ノ審議ヲ先ニセン事ヲ提議シ「バルフォア」ハ前回理事会ニ於テ「パレストアイン」ニ関スル「マンダー」ヲ決定センガ為特ニ自己ノ主張ニ基キ此特別理事会ノ開会ヲ見タル次第ナルモ同時ニ両「マンダー」ヲ確定スルニハ異議ナシト述べ「インペリアリ」ハ伊政府ハ「セーヴル」条約ノ批准セラレザルコトヲ理由トシテA「マンダー」ノ決定ニ反対シ来リタルモ幸ヒ

六 國際聯盟理事会ニ関スル件(第十六回乃至第二十二回)

英伊ノ交渉ニ依リテ自國ノ利益ヲ確保シ得タレバ「パレス  
タイン」ニ関スル「マンダー」ノ決定ニ異議ナキモ「シリ  
ア」ニ関シテハ同様ノ妥協ヲ遂グル迄其「マンダー」ノ決  
定ニ承認ヲ与フルコト能ハズト述べ「ヴィヴィアニ」ハ英  
仏二個ノ「マンダー」ハ必ズ同時ニ成立セザルベカラズ「シ  
リア」ニ関スル「マンダー」ノ提出後二個年トナレリ今仏米  
ノ交渉ノ結果無害ナル修正ヲ加ヘタレバトテ伊太利ノ反对  
スベキ理由何処ニ在リヤ今回理事会ガA式「マンダー」ヲモ  
改訂セザランカ責任ハ伊太利ニ在リト述べ「バルフォア」ハ  
此会合ガ目的ヲ達スルト否トハ其責任伊太利ノ双肩ニ懸レ  
リ明日ニモ公開理事会ヲ開キ吾人ノ意見ヲ公表セザル能ハ  
ザランガ批評ハ伊太利ノ上ニ集マラントテ伊太利理事ノ態  
度ヲ改メンコトヲ勧告シ本使モC式委任統治条項成立当時  
日英間ニ蟠レル懸案アリシモ世論ニ聴キテ右懸案ヲ別個ノ  
交渉ニ譲リC式条項ヲ成立セシメタル雅量アル先例ヲ指摘  
シ之ニ倣ツテ目下ノ難関ヲ脱センコトヲ提議シ各国理事亦  
本使ト見解ヲ同ウシ結局伊太利理事ニ於テ本會議ノ模様ヲ  
(政府ニ?)報ズル迄本件ノ審議ヲ延期スルコトナレリ  
(十四) 国境劃定委員ガ「ビュルゲンランド」ニ於ケル境

三七七

四一四

地利、洪牙利国境ノ三点ニ於テ人種、地理及經濟上ノ理由  
ヨリ修正ヲ施サンコトヲ大使會議ニ提議シタル処大使會議  
ハ本件ニ関シ理事会ガ調停ノ勞ヲ取ランコトヲ希望シ係争  
國ハ共ニ「ヴェニス」議定書ニ準拠シテ理事会一致ノ勧告  
ニ服スヘキコトヲ声明シ為ニ右ノ件ハ理事会ノ議ニ上リタ  
ルガ当事國代表ノ弁明アリタル後報告委員「イーマンス」  
ノ指揮下ニ兩國専門家ト協力シ聯盟事務局ニ於テ調査ヲ行  
フコトナリ何分ノ決定ヲナスコトヲ次回ニ延期シタリ  
(十五) 国境劃定委員ガ略同様ノ理由ニ基キ洪牙利、塞爾  
比亞間国境修正ヲ提議シタル件ハ大使會議ヨリ理事会ニ移  
牒セラレタリ洪牙利ハ理事会ニ居中調停ノ勞ヲ取ランコト  
ヲ求メ塞爾比亞ハ右修正提議ニ関シ妥協解決ヲ講ズヘキコ  
トヲ諾シ玆ニ本件ハ理事会ノ日程ニ上リタルガ理事会ハ兩  
國代表ノ主張ニ関スル覺書ヲ吟味シタル後其頗ル機微ニ亘  
ルモノアルヲ認メ円満ニ解決ノ見込アル調停案ノ基礎ヲ見  
出スコトヲ「イーマンス」氏ニ求メ理事会ノ本件受持ヲ諾  
スルヤ否ヤハ追テ決スルコトトス

(十六) 安達大使寿府發電第一四号ノ三十六ニ関シ波蘭政  
府ヨリ回答ニ接シタルヲ以テ波蘭代表ト事務總長トニ(委

嘱シ)之ヲ吟味シテ次回ニ報告ヲ提出セシム

(十七) 事務總長ハ規約第十六条ノ第一改正決議ヲ第三總  
會以前ニ批准スル必要アル旨(各国)政府ノ注意ヲ喚起セ  
ンコトヲ理事会ニ求ム

(十八) 波蘭「リスミアニア」紛争事件ニ関スル監督委員ノ  
費用分担額二十万金貨法ヲ波蘭政府ヨリ払込ミタル旨事務  
總長ノ報告ヲ了承ス

(十九) 往電聯第一一八号ニ関シ「ナンセン」ハ各国ノ釀  
出額ガ合計一万七千五百磅ニ達シ不足額ハ米國赤十字ニテ  
引受クル筈ナル旨及一千名ノ西比利亞人ヲ浦潮斯德ニ輸送  
スル為交渉進行中ナル旨及埃及「キプロス」並塞爾比亞ニ  
於ケル避難民ヲ就職移住セシムル事ガ大半其業ヲ終ヘタル  
旨ヲ報告シ尚同氏ノ提議ニテ一定様式ノ身元保証書ヲ發給  
シ其他國ニテ發給セラレタルモノヲ有効ト認ムル様各國ニ  
勧告スルニ決ス

(二十) 安達大使發電第一四号ノ二十七ニ関シ諾威代表  
「ナンセン」ハ尚今日モ飢餓ニ悩ム者尠クモ二十万人、既  
ニ死亡セル者二百万、飢饉ト疫病トノ兩原因ノ為ニ死亡セ  
ル者又数百万ヲ下ラズ今年收穫ノ豊富ヲ期待シ得ルモノア

六 國際聯盟理事会ニ関スル件(第十六回乃至第二十二回)

三七七

四一五

ルモ一九一六年露國ノ農産六千五百九十万噸内輸出高一千  
二百万噸ニ対シ本年ノ收穫見込額三千二百二十万噸ナレバ  
尚二千万噸ノ不足ヲ算ス飢饉地方ニアリテ牛馬ハ所ニ依リ  
五割乃至九割五分迄斃死シ今日米國其他ノ慈善団体ノ救済  
ヲ受クル者八百万ニ上レリトテ調査委員派遣ノ必要ヲ力説  
シ理事会ハ露國ニ於テ救済事業ニ従事セル諸団体及各國政  
府ヨリ供給セラル可キ情報其他ノ資料ヲ綜合シテ露國ノ真  
相ヲ窺フニ足ル報告ヲ提出セン事ヲ事務總長ニ委嘱シ其上  
ニテ必要アレバ専門委員ヲ任命シテ露國ノ飢饉ガ全歐洲ノ  
衛生並財政經濟狀態ニ及ボセル影響ヲ調査セシムル事トス  
(二十一) 起草委員會ノ報告アリタルヲ以テ「B」式「マ  
ンダー」条項ヲ確認ス

(二十二) 聯第八五号及聯本公第一九七号ニ関シ万国衛生  
事務局ノ發議ニ依ル一九一五年条約改訂等ノ為仏國ニ依リ  
テ招集セラル可キ國際衛生會議ニ就テハ聯盟ノ保健機關ヲ  
仏國政府及該國際會議ノ配下ニ置ク事ヲ決議シ且保健委員  
會ノ其他ノ措置ヲ是認ス

(二十三) 英國理事ハ其政府ニ於テ窒扶斯其他ノ疫病撲滅  
ノ為諸國ニテ合シテ十万磅ヲ釀出スル条件ノ下ニ同額ヲ寄

附スルノ意図アル旨言明ス

（二十四） 海盟第三六号乃至第四六号ニ関シ「ヴィヴィアニ」ノ経過報告アリ其提議ニ基キテ予算制限及

トクシニコウリヨウノ陳述並米國ノ批准ヲ効力發生ノ条件トスル

武器取引取締条約ノ批准ヲ各國ニ勸告シ且混成委員會ノ希望ヲ容レテ其予備の調査ヲ促進スル為他ノ専門委員會ノ協力ヲ求ムル諸決議ヲ採用ス

（二十五） 本多公使ヲ混成委員會委員ニ指名ス

（二十六） 寿府安達大使發電第一〇号ニ関シ其（一）ニ付キテ尠ナクモ「阿片条約ニ違反シテ不正ニ云云」ナル字句ヲ存置セントスル阿片委員會議長ト支那委員トノ間ニ一種ノ了解成立散会前ニ右委員會ヲ招集スルコトトス

（二十七） 同第一四号三四ニ関シ事務総長ヨリ経過報告ノ提出アリ其提議ニテ独逸ノ委員ヲ聯盟ノ保健機關ニ加フルコトトス

（二十八） 往電聯第一一五及聯本公第一八六号及一八八号ニ関シ經濟部会ノ措置ヲ是認シ財政經濟委員會ノ永久的組織ヲ決定スル件ハ審査ヲ延期ス

（二十九） 聯本公第一七八号ニ関シ財政部会ノ決定ヲ是認

シ其適用及事業ノ促進ニ必要ナル諸決議ヲ採用ス

（三十） 寿府安達大使發電第一四号ノ二十一ニ関シ事務総長ヨリ覚書ヲ提出ス

（三十一） 二十二日ノ会合ニ於テ再ビA式条項ノ審議ニ入り勞頭伊國理事ハ仏國政府トモ（脱）英間ニ於ケルト同様ノ妥協成立スルヲ条件トシテ「シリ」条約ニモ承認ヲ与フルノ用意アリト声明シ次デ「パレスタイン」条項第一四条ノ討議ニ入り「セーヴル」条約九五条ニ準拠シテ組織セラルベキ聖地ニ関スル委員會ノ権限組織ニ関シ「ヴィヴィアニ」ハ（一）加特力代表ノ數ヲ過半数トナスコト（二）右委員會ヲ常置トナサンコトヲ要求シ「バルフォア」ハ右第一点ニ就テハ總會理事会又ハ國際司法裁判所ノ該委員ガ入選ニ関与スルコトハ歡迎スルモ過半数ヲ加特力ニ与フルヲ欲セズ第二点ニ就テハ該委員會ヲ常置トナシテ執行權ヲ有セシムル時ハ「インペリウム、イン、イムペリオ」ノ形勢ヲ馴致スベキガ故ニ到底承諾シ得ズ只必要ノ都度会合スルコトニハ異議ナシト述べ是ニ對シ伊國理事ハ第二点ニ就テハ「バルフォア」ノ説明ニ満足シ第一点ニ就テハ仏理事ノ主張ヲ支持シタリ玆ニ於テ「バルフォア」ハ議論ノ分ルル点

ハ數日ノ商議ヲ以テ解決スベクモアラザルガ故ニ暫ク第一四条ヲ留保シ置キ「パレスタイン」及「シリ」条項ヲシテ英仏間ノ交渉円満ニ落着スル時ハ理事会ニ於テ何等ノ処置ヲ取ラズトモ理事会ノ関スル限リ自働のニ同時ニ効力ヲ發生セシムルコトニ定メ兩「マन्दラー」ノ審議ヲ終リタシト提議シ仏理事直ニ是ニ賛シタルモ伊國理事ハ重要ナル第一四条ナシニ「パレスタイン」条項ヲ是認スルコトハ困難ナリ其形式ニ於テB式A式ト調和ヲ欠クモノアリ故ニB式ニ於ケルト同様起草委員會ノ審査ヲ求ムベシト提議シテ同意ヲ得次デ西班牙理事ハ聖地ニ関スル委員會ニハ必ズ西班牙人ヲ代表セシメザル可カラズト声明シ英及白理事是ニ倣ヒタリ故ニ原案ヲ存置シテ過半数ノ点ノミニ就キテ後日ノ協定ニ讓ル旨ヲ明記シ置クベシト主張シ「イーマンス」モ略々同意見ニ見エシガ「ヴィヴィアニ」ハ數多ノ点ニ就キ明確ヲ期セザルベカラズト言ヒ商議ノ結果聖地ニ関スル委員會ハ其任命方法構成及權能ニ関スル規定ガ別ニ理事会ノ承認ヲ經タル後初メテ受任國ニ依リテ任命セラレ其職務ヲ開始スベキ旨ノ規定ニ第一四条ヲ改メテ是ヲ承認スルコトトナレリ依テ本使ハA式条項ニ関シテハ報告委員ノ批評

ナク二十四日ハ既ニ主義上決シタル「シリ」及「パレスタイン」「マन्दラー」問題ヲ公會ニ於テ論スルコトトナリ「ヴィヴィアニ」「バルフォア」相踵テ演説ス前者ハ大体政治論ヲ為シ後者ハ主トシテ英國公衆ヲ目的トシ反對論者ノ杞憂ニ過ギザルヲ論破ス議長ハ右「マन्दラー」ノ成立ヲ宣告シ次テ今回會議ノ結果ヲ列挙シ最後ニ英國政府ノ欲待ニ對シ謝辭ヲ述べ閉会セリ

三七八 七月二十四日 在英國林大使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

勸牙利政府ノ隣邦ニ於ケル自國民保護要請ニ  
關スル件

聯第二号 （七月二十五日接受）

（前略）

勸牙利政府カ其隣邦ニ於ケル自國民ノ保護ヲ「ゼノア」會議ニ求メタル件ハ單純ニ聯盟ニ移牒セラレタルガ伯刺西爾理事「ダ、ガマ」ノ報告ニ基キ理事会ハ何時ニテモ少數民族保護條約ニ関スル訴ヲ調査スル用意アル旨ヲ勸牙利政府ニ通牒スルニ決ス洪牙利政府ノ同一手続ニ依レル同種ノ要求ニ對シテモ亦同趣旨ノ決議ヲ採用シタリ

六 國際聯盟理事会ニ関スル件(第十六回乃至第二十二回)

三七九 八月五日 在ジュネーヴ松田聯盟帝國事務局局長ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

聯盟經濟部長ヨリ露國事情調査ニ関シ本邦側  
ノ資料提供希望アリタルニ付電報方稟請ノ件

第四号 (八月八日接受)

聯盟經濟部長 Nixon 本官ニ面会ヲ求メ倫敦理事会決議ニ  
係ル露西亜事情調査ハ同人ノ手許ニ於テ第一回諸情報ヲ関  
係諸國ヨリ八月末迄ニ入手シ之ヲ整理スル手筈ノ由ニテ右  
第一回調査中ニ日本ヲ欠クコト能ハザルニ付何ナリ共提出  
アリタシトノコトナリ右ニ対シ本官ハ締切時期余リニ切迫  
シ本邦トシテハ提供困難ナル旨ヲ一応答ヘタルモ先方ノ懇  
願モアリ且西比利亞ニ関シテハ日本ノ外提出シ得ザルニ付  
右ニ関スル調査ノ大要ヲ同時期迄ニ巴里事務局ヘ電報アリ  
タク且詳細郵報アリタシ尚同人ハ在欧日本大、公使館ニ已  
ニ到着シ居ル情報アラバ速ニ入手シタシトノコトナリ右ハ  
本官ニ於テ石井大使ト協議ノ上正確ト認メラルモノアラ  
バ報知スペシト約シ置ケリ尚ホ Nixon ハ婦朝中ノ森財務  
官ニ特ニ本件ノ斡旋ヲ求メタキ旨ヲ附言セリ調査事項ハ次  
ノ如シ

ニ関シ理事会ハ一々代表権ヲ希望スル國ノ代表者ヲ理事会  
ノ議ニ参加セシムルトキハ議事長引クノミナラズ全会一致  
ヲ得難キ事情アルニ付「ヴェルサイユ」条約第三九三条第  
七項ニ基キ八大工業國ノ選定ハ理事会ノ専權ニ屬シ代表権  
ヲ主張スル國ハ參考ノ為メ書面ヲ以テ説明ヲ為スノ外議ニ  
参加スルヲ得ズト決定セリ

(一)「ダニューブ」河管理委員改選ハ尚一年間重任ニ決ス  
(二)第十八回理事会ノ決議ニ基キ波蘭「リスアニア」紛争問  
題ニ関スル中立地帯ハ之ヲ維持シツツ行政上及裁判上ノ便  
宜ニ資スル為メ仮境界線ヲ確定スルノ下調ヲ為スヘキ委員  
派遣費ハ聯盟ノ負担トスルニ決ス

(三)聯盟予算ノ流用ニ付是認ス  
(四)事務總長ヨリ總會ニ提出スヘキ聯盟ノ財政狀態特ニ分担  
金払込ニ関スル説明アリ

(五)國際司法裁判所書記長ノ俸給ハ同所長ヨリ再応交渉アリ  
依テ最初二万二千「フロリン」翌年ヨリ毎年千二百「フロ  
リン」ヲ増シ二万七千「フロリン」ニ至リテ止ムコトトス  
(六)閑場ノ代トシテ松山ヲ指名ノ件理事会ノ承認ヲ經タリ

六 國際聯盟理事会ニ関スル件(第十六回乃至第二十二回)

三七九 三八〇 四一八

(一)農産物(動物ヲ含ム)收穫物ノ国内輸送、農産物ノ輸出  
入

(二)鐵道水路及陸路ニ依ル運輸狀況殊ニ物資狀況鐵道労働者  
ノ組織及狀態港ノ狀況

(三)人口ノ増減移動ニ関スル統計生産狀態ニ関スル統計殊ニ  
飢饉及疫病ノ結果ニ関スルモノ

(四)各地方ニ於ケル農民及市民ノ生活狀態  
(五)其ノ他日本政府ニ於テ有益ト認ムル材料

三八〇 九月一日 在ジュネーヴ石井聯盟理事会代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

第二十回理事会ニ於テ印度ノ代表権ダニュー

プ河管理委員改選及「リ」波紛争等審議ノ件

第九号 (九月三日接受)

三十一日ヨリ開会ノ第二十回理事会經過概要左ノ通り  
(一)印度、加奈陀、瑞典、波蘭等ノ諸國ハ八大工業國ノ一ト  
シテ労働理事会ニ代表権ヲ主張スルモノナルガ就中印度ハ  
本件ガ理事会ノ議ニ上ル節ハ規約第四条ニ拠リ其代表者ヲ  
理事会ノ議ニ加ハラシメタキニ付其代表者ノ到着スル迄印  
度ノ代表権問題ヲ延期セラレタキ旨電報ヲ以テ申込アリ右

三八一 九月三日 在ジュネーヴ石井聯盟理事会代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

赤十字ニ災厄救済等平時職能附与ノ問題及ヴ  
イスチュラ河ノ管理權ニ関スル高級委員ノ決  
定並ナンセン報告等討議ノ件

第一〇号 (九月四日接受)

第二十回理事会其後ノ經過左ノ通

一、「ゼノア」會議議長ヨリ回付セラレタル赤十字ニ平時  
ノ職能ヲ附与セントスル提案及災厄救済ノ為ニ列國ヨリ資  
金ヲ釀出セシメ聯盟ノ庇護下ニ赤十字ヲ実行機關トスル常  
設國際機關設置案ニ就テ「バルフォア」ヨリ前者ニ就テハ  
赤十字ノ戰時ニ於ケル本務ノ遂行ヲ傷クル事ナキヤ危虞ノ  
念ヲ抱ク旨後者ニ就テハ未だ災厄ノ為資金ヲ募集スルノ  
殆ド不可能ナル旨ヲ指摘スル処アリタル後前者ニ就テハ千  
九百六年ノ条約改訂ヲ議セントスル企アルニ付其結果ヲ待  
ツ事トシ後者ニ就テハ諸般ノ見地ヨリ研究ヲ遂ゲ報告ヲ提  
出セン事ヲ事務總長ニ委嘱ス

二、「ダンチヒ」ニ於ケル「ヴィスチュラ」河ノ管理權ハ  
同市ニ屬スル旨ノ高級委員ノ決定ヲ確認ス又波蘭ノ軍用材

料置場ヲ市内「ホルム」島ニ之ヲ設ケ追テ新運河開鑿ノ上  
他ニ移転セシムベキ旨ノ高級委員ノ決定ヲ是認ス

三、「ナンセン」ヨリ提出アリタル俘虜送還事業完了及埃  
國避難民救済ニ関スル最近ノ報告ヲ諒承ス

四、理事会ヨリ諮問シタル(一)第三回労働會議ニ於ケル和蘭  
労働代表ハ適法ニ任命セラレタルヤ(二)國際労働機關ノ権能  
ハ農業労働者ニモ及ブヤ(三)農業生産手段改善ニ関スル方策  
ノ審査ハ労働機關ノ権能ニ属スルヤノ三問ニ関スル國際司  
法裁判所ノ意見ヲ労働事務局ニ通達スル事トス

因ニ右裁判所ノ意見ハ(一)及(二)ニ就テハ積極(三)ニ就テハ消極  
ナリ

五、「ウィルナ」ニ人民投票ノ為派遣スベカリシ諾威軍隊  
ノ維持費ヲ聯盟ノ負担トシ後之ヲ係争國ヨリ取り立ツル事  
トス

六、万国議員會議議長ヨリ回附セラレタル International  
Institute of Commerce ヲ聯盟ノ附屬機關ト為スノ件ハ之  
ヲ經濟委員會ニ附託ス

七、「アルバニー」外務大臣ノ總選舉ノ結果學校及宗教団  
体ノ狀況ニ現レタル少数民族保護ニ関スル報告ヲ諒承シ尚

渡ニ依リテ負担セル債務等參百五拾七億麻克ノ抹殺官營  
事業ヲ完成シ其帰属者ヲ決定スルコト Danzig 及國庫債  
權ノ割引ヲ Reichsbank ニ引受ケシムルコトヲ賠償委員  
會ニ要求セントスル高級委員ノ提議ヲ財政委員會ニ附託  
ス

五、土人ノ国籍問題ニ関スル委任統治委員會ノ決議ヲ各國  
ニ回附シ特ニ受任國ノ注意ヲ喚起スルコトトシ理事会ノ  
決定ハ之ヲ後日ニ延期ス

六、委任統治地域居住人ノ請願ハ受任國政府ヲ通過セシム  
ルヲ要スル旨ノ英政府提案ヲ委任統治委員會ニ附託ス  
七、阿片委員會ノ提案ニ基キ阿片ノ合法ナル使用量調査ノ  
為メ本件委員會トキンゴウ(?)ノ小委員會ヲ組織ス

八、保健委員會ノ諸決議及其 Rockefeller 財団トノ取極ヲ  
是認シ「ワルソー」會議「ゼネヴァ」會議及最近二回ノ  
審議ノ後ヲ受ケテ理事会ヨリ第三回總會ニ出席セル各國  
代表ニ其ノ政府ニ向ッテ寄附勸誘方ヲ考究シ會期中ニ其  
ノ回答ニ接センコトヲ希望スル旨決議ス

三八三 九月五日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

ホ将来立法手段ノ採ラレタルモノアル時ハ理事会ニ報告ス  
ル様事務総長ニ依嘱ス

三八二 九月四日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

ザール市政委員、ダンチツヒ財政改善、被委  
任統治地域住人ノ国籍、同住人ノ請願等審議  
決定ノ件

第二号

石井理事ヨリ

一、Saar 居留民ニテ市政委員ノ一員タル Sector ヲ任期尽  
クルニ依リ更ニ一年間重任ニ決ス

二、右市政委員ニ於テ鐵道事務員八十名ノ定員ヲ独逸政府  
ニ雇傭セシメントスル提案ハ独逸側ノ反対アルヲ以テ右  
委員ト独逸政府ノ直接交渉ニ譲リ其ノ解決ヲ見ルマデ現  
狀ヲ維持セシムルコトトス

三、「ヴェルサイユ」條約第五〇条附屬第三章ノ規定ニ準  
拠シテ施行セラルベキ人民投票有権者ヲ認識スルニ必要  
ナル文書保存ノ為メ調査委員ヲ任命ス

四、Danzig 財政狀況ヲ改善ノ為メ其ノ旧独逸官有財産讓

石井帰朝中ノ聯盟理事会ニハ安達、最高會議

ニハ林、安達及落合ノ出席方ニ付請訓ノ件

第一二号 (九月六日接受)

林及石井ヨリ左ノ通

石井帰朝中開カル可キ聯盟理事会ニ於ケル日本代表者ハ安  
達大使ヲ出席セシメラル事然ル可シト存ゼラルルニ付右  
ニ御異存ナクバ石井出発前理事会側ニ其手續ヲ為ス可キニ  
付何分ノ訓電アリタシ尚又最高會議開カルル場合ニハ林ノ  
外歐洲問題ニハ安達、近東問題ニハ落合ヲ出席セシムル事  
ニ大体定メ置キ且其都度ノ事情ヲモ考慮シテ決定セラレテ  
ハ如何尤モ會合前ニハ予メ請訓ス可キモ咄嗟ニ出席者ヲ定  
ムル必要有ル場合無シトモ限ラズ且当方ノ心組ニ於テ右予  
メ御決定置アル方万事ニ都合好シト存ズ何分ノ回電アリタ  
シ

三八四 九月六日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

埃國救済問題ニ関シ審議報告ノ件

第一三号 (九月七日接受)

石井理事ヨリ

六 國際聯盟理事会ニ関スル件(第十六回乃至第二十二回)

三八五

四二二

六日午前ノ理事会ニ於テ「バルフォア」ハ埃國救済問題ノ議事ニ「チエコスロヴァキー」代表「ベネシュ」ヲ招致セシコトヲ提議シ仏理事ノ賛成アリ伊國理事ハ其他ノ埃國繼承國モ出席權ヲ要求シ来ル惧アリト述べ本官ハ規約第四条第五項ニ「利害關係アル國」トハ係争國ヲ意味スルモノト思考セラレ今「チエコ」代表ニ票決權ヲ有セシムル時ハ偶理事會ノ満場一致ヲ害スル惧アリト述べタルニ仏理事ハ利害關係國ト係争國トハ明ニ差異アリテ「チエコ」ハ此場合特別利害關係國タルコト明ナリト述べタルニ付本官(脱)特ニ主張(脱)唯一先例ヲ構成スルモノナルコトニ就キ同僚ノ注意ヲ喚起スルニ止メタリ

午後公開理事会ヲ開キ埃國救済問題ヲ議ス埃國宰相「ザイペル」ハ詳細実況ヲ陳情スル所アリ右終リテ公開ヲ閉ヂ秘密會ニ移リ更ニ各理事ヨリ救済借款ニ対スル担保國內ノ秩序及深ク埃國ノ主權ヲ害セズシテ行ハルベキ監督方法等ニ就テ質問ヲ發シ埃國首相及外相ノ説明ヲ聴取シタル上英仏伊埃及「チエコ」代表者ヲ以テ分科會ヲ設ケ理事会ニ報告セシムルコトトナレリ

關スル委員會ノ報告ヲ總會ニ回附ス

五、波蘭ニ於ケル独逸少数民族ニ関シ若干法律問題ヲ西班牙仏蘭西及英國ノ法律家及事務局法務部長ヨリ成ル委員會ニ附託ス

三八六 九月十一日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

チュニス及モロッコ出生者ノ国籍ニ関スル英

仏爭議ニ付請訓ノ件

第三〇号

(九月十二日接受)

石井理事ヨリ

昨年末仏國ハ「チュニス」「モロッコ」ニ生レタル外國人ノ子ニシテ右兩國ニ生レタル者ヲ仏國民トナシ徴兵ノ義務ヲ負ハシムル勅令ヲ發布セルヨリ英仏間ノ爭議トナリ議經ラズシテ英國ハ英仏仲裁條約及聯盟規約第十三条ニ依リ仲裁裁判ニ附セント提議セルモ仏國ハ之ヲ拒絕セルヨリ英國ハ今回聯盟規約ニ依リ本件ヲ理事会ニ訴ヘ出デタリ之ヨリ先在仏英國大使ハ本官ヲ來訪シ本件ヲ理事会ニ持出ス前予メ本官ニ説明シ置クヘキ訓令ヲ受ケタリト縷々説明セルガ其言ニ拠レバ「モロッコ」「チュニス」共仏國ノ保護國ナ

六 國際聯盟理事会ニ関スル件(第十六回乃至第二十二回)

三八五 九月十一日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

ダンチツヒ財政改善、第二回交通委員會報告、  
塞洪国境等ノ問題討議ノ件

第二九号

(九月十二日接受)

石井理事ヨリ

一、往電第二号四ニ関シ

財政委員會ノ報告ニ基キ高級委員ノ提案中前二者ヲ是認シテ其第一ハ抹殺ノ文字ヲ延期ニ改メテ之ヲ賠償委員會ニ第二ハ之ヲ大使會議ニ移牒シテ其取ラントスル措置ニ関シ回答ヲ求メ最後ノモノニ就テハ新貨幣制度ノ採用及応急策トシテ安定ナル外國貨幣額面ノ國庫債券ノ發行ニ関シ高級委員ノ説ヲ徴ス

二、往電第四号及二月末ノ第二回交通委員會報告ニ関シ報告書ヲ總會ニ回附スルニ決ス

三、塞耳比ト洪牙利トノ国境問題ハ當事國間ニ商議進行中ニ付延期ス

四、第二回總會ノ決議ニ從ヒ(イ)聯盟ノ財務行政ニ関シ監督委員會ガ作成セル決議案(ロ)混成委員會ノ報告(ハ)智的協力ニ

リ保護國ノ主權ハ保護者ニ在ラズ被保護國ニ存ス故ニ右式國ニ生レタル外國人ヲ「モロッコ」又ハ「チュニス」國人ト看做スナレバ法理上一応ノ理由アルベキモ仏國籍ヲ課スルノ理ナシトスルニアリ仏國ハ本件ヲ純然タル國內問題トシ仲裁ヲ拒絕スルガ如シ当地着後英國側ノ内話ニ拠レバ仏國ハ右兩國生ノ英國民ヲ力ヲ以テ兵營ニ引張り乱暴ヲ極メ居ル由ニテ頗ル激昂シ若シ國際聯盟ナカリセバ英國ハ軍艦ヲ送り自衛ヲ講ズル所ナリシガ聯盟存在ノ今日実力ニ依リテ控ヘ理事会ノ裁判ヲ俟ツト敦囑ツツアリ英仏爭議ノコトトテ本件ハ頗ル機微ニ亘リ報告ヲ引受クル者ナキ有様ナル処本件ノ決定ハ自然朝鮮ニ影響スベキカト考ヘラルルニ付其筋ニ対シ御協議ノ上方針御訓示アリタシ

三八七 九月十三日

内田外務大臣ヨリ  
在ジュネーヴ聯盟總會代表宛(電報)

聯盟理事会及最高會議出席者ニ付回訓ノ件

第三一号

貴電第一二号前段ニ関シ御申越通りニテ異存ナシ後段最高會議出席者ニ付テハ別ニ所管ヲ定メズ林ノ外安達落合日置ノ三名ヲ予定シ置キ其都度ノ事情ヲ考慮シテ決定スルコト

三八六 三八七

四二三

ト致度シ

三三八 九月十四日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

理事会非常任理事増員問題ニ関スルバルフォ  
ア卿ノ要請ニ付請訓ノ件

第三五号

（九月十五日接受）

石井理事ヨリ

十三日理事会ノ後「バルフォア」卿ハ本官ニ内議シタキコトアリトテ別室ニ至リ其言フ所ニ依レバ理事会非常任理事増員ノ件ハ昨年来ノ行懸リニテ最早抵抗スベカラザル勢ナレバ此際二名増加ヲ理事会ニ於テ決定シ總會ニ持出スコト得策ナルベク右ハ「ブルジョア」氏モ賛成ナレバ本官モ賛成セラレタク「インペリアリ」ハ未ダ相談セザルモ多分反對ナカルベシト思ハル云々本官ハ主義トシテ理事ノ増員ヲ不可トスルモ總會ノ大勢ニ鑑ミ已ムヲ得ザレバ二名増員ニ反對セザルベシト答ヘタルニ「バ」卿ハ序デ作ラ非常任理事候補者ニ就キ意見ヲ交換シタシトテ彼ハ白耳義、西班牙、伯刺西爾ヲ重任セシメ支那ハ内政紊乱ノ現状ニ鑑ミ之

成スルノ外ナシト存ズルモ折返シ御訓令アリタシ

三八九

九月十四日  
在奥国井田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

奥国救済問題ニ関シザイベル首相内話ノ件

第五五号

（九月十五日接受）

往電第五四号ニ関シ

奥国救済問題ニ関シ十四日首相「ザイベル」ヲ訪問シ「ゼネヴァ」ニ開会中ナル國際聯盟ニ「アッピール」セル結果ニ付尋ネタル処

一、首相ハ奥国問題ハ幸ニ聯盟會議有力代表者ノ同情ヲ得其ノ結果英、仏、伊、「チェック」及奥国五代表者ヨリ成ル特別委員會組織セラレタルガ從來懸案タリシ英米借款案ハ差当リ実現ニ困難ノ事情アル為同委員會ニ於テハ目下其ノ代案トシテ「チェック」「ユーゴスラヴ」伊太利及瑞西政府保障ノ下ニ之等諸国ノ銀行家ヲ重ナル引受人トセル對奥新借款計画セラレ「ベネシユ」及「イムペリアリ」等中心トナリ尽力中ナリ尚同借款ニ対シ米國資本家ハ已ニ参加ノ意向ヲ通知シ仏國ハ多分「チェック」実業家ヲ通シテ間接ニ参加スルコトナルヘキモ英國側ノ態度ハ只今ノ処不

六 國際聯盟理事会ニ関スル件（第十六回乃至第二十二回）

三三八

四二四

ニ代フルニ南米ノ一國例ヘバ智利ヲ以テシ二名増員ノ一ハ「スカンヂナヴィア」他ハ「プチット、アンタント」ノ一國トシテハ如何ト述べタルニ付本官ハ大体右ニテ差支ナシト思考ス非常任國選定其他聯盟役員選舉ニ際シテ常ニ地方的考慮ヲ忘ルベカラズトハ日本ノ主張ナルガ支那ノ現状ニ鑑ミ此際右主義ノタメニ支那候補ヲ飽迄主張スルノ勇氣ナキ旨ヲ告ゲタルニ「バ」ハ地方的考慮ハ勿論吾人ノ必要トスル所ナルガ何分ニモ支那ノ現状ハ此考慮ヲ打消ス程ナリ事務總長ノ言ニ依レバ支那現政府ハ議會ヲシテ条約ヲ批准セシムル威信ヲ有セズ理事代表國タル支那ガ批准シ能ハザルノ故ヲ以テ第二總會決定ニ係ル規約改正諸案ハ拳ツテ宙ニ迷フノ有様トナレル由ニテ是丈ケニテモ支那ハ既ニ理事會ニ列スルノ資格ヲ失ヘリト云フベク去リトテ亞細亞中暹羅、波斯ハ理事会代表ノ資格アリトモ思ハレズ印度ハ英國トノ關係上問題トナラズ依テ残念ナラ地方的考慮ノ点ハ日本ノ一人理事ヲ以テ亜細亞「カバ」スルモノト看做シ前述ノ案ニ賛成セラレタシト云ヘリ本官ハ自分ノ関スル限リ余儀ナキ次第ト思考スルモ一応政府ニ問合セノ上確答スベシト述べ置ケリ事情前述ノ通ニ付「バルフォア」案ニ賛

明ナリ察スルニ英國ニハ政治上二個ノ思潮アリ「ロイド、ジョージ」ノ一派ハ直接關係ヲ有セザル大陸ノ問題ヨリハ手ヲ退カントノ考ヲ有シ之ニ反シ「バルフォア」等ハ歐羅巴全部ヲ一体ト見做シ總會問題ニ干与スルハ已ムヲ得ザルコトニ解シ居ルニ似タリ

二、「次ニ考慮中ナルハ上述借款參加國ノ奥国ニ対スル「フイナンシアル、コントロール」ナルガ此点ニ関シ奥国ハ主權ヲ侵害セザル程度ノ拘束ヲ受クルハ已ムヲ得ザルコトト覺悟シ居レリ但國民ノ自負心ヲ傷ケザル為上述ノ監督委員ハ國際聯盟ヨリ任命スル形式ヲ採ルコト並「チェック」及「ユーゴスラヴ」等隣接國人ヲ使用セズ聯合國又ハ中立國人ヨリ選取サレンコトヲ希望シ居レリ」ト述べタル後語頭ヲ轉シ上述ノ借款計画ガ不成立ニ了リタル場合ニハ奥国ハ現在迄ノ政策ニ復帰シ伊太利ト關稅及貨幣同盟ヲ締結スル決心ナリト言明セルニ付之ニ対シ本官ハ奥伊兩國ノ經濟的聯合ハ事實上伊太利ガ独逸ト直接國境ヲ接スル關係ヲ惹起スヘク右ハ伊太利ノ希望セザル所ノ由ナルガト反問シタルニ首相ハ夫ハ正反對ナリ独伊兩國境ヲ連絡スルハ伊國本来ノ政策ナリト語調ヲ昂メ尚關稅同盟ニ関シ奥伊兩國間ニ夥多未

三八九

四二五

濟ノ案件存スルハ事實ナルモ右ハ畢竟如何ニ相互ノ利益ヲ調和セシム可キヤノ「テクニク」ニ関シ居リ本問題自体ニ就テハ兩政府間ニ充分ナル諒解成立シ居ル次第ナリト附言セリ

本多公使及英仏へ転電セリ

三九〇 九月二十日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

壙国救済問題ニ関シ財經仮委員会財政部ヨリ

理事会小委員会ニ提出ノ報告書ニ関スル件

第五六号

（九月二十一日接受）

財經仮委員会財政部ハ壙国救済問題ニ関シ九日ヨリ引続キ第九回會議ヲ開催シ壙国代表者ノ陳述ヲ聴取シタル上既報ノ同問題ニ関スル理事会小委員会ニ対シ其諮問事項ニ付報告書ヲ提出セリ其摘要左ノ通り

第一、壙国予算ノ均衡ヲ得ル方法及其實現シ得ベキ時ノ問題ハ一ニ改革実行ニ対スル壙国政府ノ決心及權威ニ頼ルモノナルヲ以テ確定的回答極メテ困難ナルモ之ヲ必須ノ条件トスルニ於テハ二年間ニ収支ノ均衡ヲ得シメ得ベシ其主要ナル方法トシテ官業ノ廢止又ハ改革ヲ実行シ特ニ

鐵道ノ収支ヲ調べ又過多ナル官吏數ヲ減少セザルベカラズ

第二、改革実行ニ要スル前記二年間ノ欠陥金額ヲ約五億二千万金「クローネ」ト見積リ之ガ補填ハ起債ニ依ル外途無シト認ム

第三、必要ナル改革ヲ行フニ於テハ森林、塩、専売收入各百万金「クローネ」関税、烟草收入各四千万アルニ依リ右起債ノ担保トシテ充分ナリ

第四、目下壙国政府及銀行間ニ交渉中ナル發券銀行ノ設立ハ適當ナル修正ヲ加フルニ於テハ壙国再興ノ必要ナル方法ナリ即チ

(a) 壙国政府提案タル一億金「クローネ」ノ資本金ハ過大ニ失スルガ故ニ三千万トシ且私人ノ応募ニ依ルベシ

(b) 銀行ヲ独立タラシムル為資本配當ニ対シ関稅ヲ担保トスルコトヲ止メ又總會ノ選任スル理事ハ壙国政府ノ承認ヲ要セザルモノトスル事ヲ勧告ス

第五、起債ハ壙国ノ財政改革及関稅烟草收入ヲ担保トスルコトヲ条件トスル外起債總額ニ対スル外国政府ノ保障ヲ要件トス

第六、壙国財政監督ノ条件トシテ

(a) 壙国政府ハ聯盟ヲ承認ヲ得テ改革計畫ヲ確立セル上ハ之レガ実行ニ必要ナル總テノ權限ヲ總括的ニ議會ヨリ授与セラルルヲ要ス

(b) 監督者ハ右確定計畫以上ヲ要求スルコトヲ得ズ

(c) 壙国政府ハ監督ニ必要ナル總テノ報道ヲ供給スベシ

(d) 發券銀行ニ收入支出ノ計算ヲ集中スベシ

(e) 起債ニハ監督者ノ許可ヲ要件トス

(f) 起債收入及起債ノ担保タル收入ハ發券銀行ノ特別勘定トシ監督ノ許可ナクシテハ引出スコトヲ得ズ

猶財政部報告ハ壙国財政改革ニハ經濟上ノ改革及壙国民ノ協力ヲ必須ノ条件トスルコトヲ力説セリ

英、仏、白へ郵送セリ

三九一 九月二十一日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

希臘人及アルメニア人避難民救助問題並万国

議員會議勧告等ニ関スル件

第六一号

（九月二十二日接受）

石井理事ヨリ

一、往電第五八号ノ(ニ)ニ関シ總會ノ提議ヲ承認ス

二、万国議員會議ノ勧告タル Institut International du Commerce ヲ經濟事項ニ関スル聯盟ノ Documentation ノ機關トナス件ハ延期

三、International Association for Promotion of Child Welfare ガ聯盟ノ指揮下ニ属シタシトノ申出ニ関スル件ハ延期

四、英發聯第一号ノ(十四)ニ関シ

Pamhagen ヲ壙国ニ Liebing 及 Leka 並 Pilka へ過半ヲ洪牙利ニ各帰属セシムルニ決ス

五、「パレスチナ」委任統治条項第二十五条ニ基キ英國代表ハ其若干ノ条項ヲ「ジヨルダン」河以東ノ地ニ適用セザルコトヲ提議シ理事会ハ之ヲ承認シタリ

註 九月二十一日在ジュネーヴ聯盟總會代表英内田外務大臣宛電報第五八号ノ二ハ左ノ通

二、往電第四七号三希臘人及「アルメニア」人ノ避難民ニ関スル件十八日午後第五委員會ニ於テ審議セラレ結局聯盟高級委員ニ右避難民救助事業補助ノ為メ露國避難民ニ対スル基金ノ利用ヲ許スコト及其資金ヲ得ルマデ或金額ヲ予備費ヨリ支出方理事会ニ要請スルノ案ヲ可決シ十九日ノ委員會ニ報告アリ満場一致可決セリ



六 國際聯盟理事会ニ関スル件(第十六回乃至第二十二回)

三九二 三九三 三九四

四二八

三九二 九月二十一日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

バルフォア及ブルジョア連名提議ノ非常任理

事二名増員ニ関スル件

第六二号 (九月二十二日接受)

石井理事ヨリ

往電第三五号ニ関シ

「バルフォア」「ブルジョア」連名ニテ非常任理事二名増員ノ提議アリ理事会ハ二十一日之ヲ議シ本件ハ将来ノ常任理事非常任理事間ノ員數ノ比例ヲ設定スルモノニアラズトノ了解ノ下ニ全会一致可決シ直ニ總會ニ同意ヲ求ムルノ手續ヲ執ルコトトナレリ  
英仏ヘ暗送セリ

三九三 九月二十六日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

壙国救済問題ニ関シ理事会特別委員會ニ於テ

各国保証割当金討議ノ件

第八四号 (九月二十八日接受)

往電第五六号財政部報告ニ対シ理事会特別委員會ハ之ヲ是

認シ各国ノ保証割合ニ付交渉中ナリシ処九月二十六日ノ特別委員會ニ於テ「チェック」首相ハ英仏伊「チェック」ハ各壙国借款五億二千万金「クラウン」ノ二割宛ヲ保証シ

(即チ四ヶ国ニテ總額ノ八割)其他ノ国ニ二割ノ保証ヲ求ムルコトトシ從來ノ前貸金ニシテ第一次國際借款ヨリ弁済ヲ受クルヲ条件トセルモノ約一億三千万金「クラウン」ニ付テハ之ニ代フルニ長期壙国債ヲ交付シテ償還スルノ提案ヲ為シタル処仏國委員ハ根本ニ於テ右案ニ賛成ナル旨ヲ述べ伊國委員モ多少ノ留保ヲ以テ之ニ賛成セルモ英國委員ハ前記前貸金ノ償還ニ付政府ノ訓令ヲ俟ツノ要アリトナスヲ以テ未ダ決定ニ至ラズ散会ス  
壙ヘ転電セリ

三九四 九月二十八日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

貨幣ノ統一阿弗利加奴隸及阿片問題等ニ関ス

ル理事会決議ノ件

第八八号 (九月二十九日接受)

石井理事ヨリ

二十六日ノ理事会ニ於テ左ノ件ヲ決議セリ

第九〇号 (九月二十九日接受)

財政部ハ更ニ理事会特別委員會ノ諮問ニ基キ壙国財政監督ノ形式ヲ審查シ九月二十七日報告書ヲ確定セリ、其ノ要項左ノ通

一、監督機關ノ職務ハ國際聯盟理事会及壙國議會ノ承認ヲ得タル計画ヲ基礎トス、而シテ壙國政府ニ対シ右計画ノ実行ヲ要求スルコト其ノ義務ナリ

二、故ニ監督委員ノ任命及解任ハ全然聯盟理事会ノ手ニ存セザル可カラズ、又理事会ハ計画ノ執行ニ対シ無関心ナルヲ得ズ、計画ノ進行ニ関スル報告ハ時々理事会ニ提出セラルルヲ要ス

三、右ノ外理事会ハ計画ノ執行ニ付不充分ナルコト又ハ濫用アルコトヲ確認スル場合ニハ之ヲ判決スル最高ノ權威者タラザル可カラズ

四、然レドモ監督者ハ不可分ニ責任ヲ負ヒ又理事会ハ絶間ナク且不当ナル訴ニ依リ壙國ノ財政干涉ニ陥レラレザルヲ要ス此弊ハ理事会ニ対スル出訴ノ權利アル場合及權利者ヲ限ルコトニ依リテノミ之ヲ避クルコトヲ得可シ

五、利害關係者ノ第一ハ壙國ナランモ保障國ノ權利モ亦尊

一、貨幣ノ統一ニ関スル羅馬尼代表ノ提議ニ関シ其ノ説明ヲ聴取シタル上之ヲ財政經濟委員會ニ附託ス  
二、往電第五七号ノ一ニ関シ第四回總會ニ報告ヲ出ス為メ事務總長ニ予備調査ヲ為スコト及聯盟國ニ対シ情報ノ供給ヲ求ムルコトヲ委嘱ス

三、往電第二五号ニ関シ右決議ニ準拠シ至急調査方阿片委員會ニ附託ス

又往電第二〇号ニ関シ右委員會ニ委員ヲ出ス様米國ヲ招請スルニ決ス

四、往電第六四号ノ二ニ関シ總會ノ決議ヲ大使會議ニ移牒スルニ決ス

五、往電第二号ノ三ニ関シ瑞西人 Alfred Bonzon ヲ右委員ニ任命ス

英仏白ヘ郵送セリ

三九五 九月二十八日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

壙国財政監督ノ形式ニ関シ聯盟事務局財政部

確定ノ報告書要領報告ノ件

六 國際聯盟理事会ニ関スル件(第十六回乃至第二十二回)

三九五

四二九

六 國際聯盟理事会ニ関スル件（第十六回乃至第二十二回）

重スルヲ要ス但保障国ノ出訴ハ計画ノ遂行ヲ危険ナラシムル場合ニ限ル可シ而シテ保障国ハ其ノ利益保護ノ為ニ計画ノ執行ヲ審査シ且必要ナル報道ヲ得ル目的ヲ以テ其ノ代表者ヨリ成ル委員会ヲ組織ス可シ然レドモ此委員会ハ監督者ニ対シ權利ヲ与ヘ得ルノ權能ヲ有セズ若シ重大ナル問題又ハ濫用ノ問題起レル場合ニハ理事会之ヲ仲裁ス

六、經費節約及意見ノ一致ヲ容易ナラシムル為監督者ハ一人トシ之ニ技術上ノ補佐者ヲ附スベシ

七、監督者ノ經費ハ理事会之ヲ定メ（不明）ノ負担トス  
八、監督ハ理事会ガ塙国財政ノ安定ヲ得タリト認メタル時ニ於テ其ノ決定ニ依リ終了ス但公債費ハ公債支払ニ対スル担保ノ特別監督ニ影響スル（脱）

英、仏、白、塙ヘ郵送ス

三九六 九月二十八日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

塙国救済借款ノ保証分担額ニ関スル本邦側ノ

態度ニ付請訓ノ件

第九一〇号

（九月二十九日接受）

三九六 三九七

往電第八四号ニ関シ

英仏伊「チェッタ」四ヶ国ノ保証残額即チ二割ノ保証ニ付テハ成ル可ク多数国ノ分担ヲ希望シ居リ白国ヨリハ右ノ中二分五厘ヲ引受クルコトノ申出アリタル由ナル処財政部ニ於テ本邦ニ付テモ内々意嚮ヲ尋ネラレタルニ付從來ノ御調電ニ鑑ミ其困難ナルベキ旨ヲ答ヘ置キタルモ或ハ今後正式交渉ニ接スルモノト察セラル就テハ右ニ対スル本邦態度至急御回訓アリタシ

本件ハ各国共議會ノ協賛ヲ要スルモノナルモ此ノ際右協賛ヲ条件トシテ其態度ヲ表明シ塙国ニ対シ借款ノ見込ヲ得シメ國際聯盟監督ノ下ニ速ニ根本的改革ニ著手セシメントスルモノニシテ保証ハ五億式千万ノ予算欠損額ヲ補填スル為ノ公債ノ外全体金償還ノ為交付スル公債一億三千万ニ及ブコトナリタルガ故ニ保証總額ハ六億五千万金「クラウン」ナリ

英、仏、塙、白ヘ郵送セリ

三九七

九月三十日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

塙国救済問題ニ関シ聯盟ヨリノ臨時監督者派

遣保証国代表者委員会招集及財政部報告ヲ基礎トセル議定書確定等報告ノ件

第九七号

（十月一日接受）

石井理事ヨリ

一、理事会小委員会ハ九月二十七日乃至二十九日ノ會議ニ於テ往電第九〇号財政部報告ヲ是認シ塙国首相ノ要求ニ依リ早速聯盟ヨリ臨時ノ監督者ヲ派遣スルコト及之ヲ財政部委員中ヨリ選任スルコトヲ決定シ又保証国代表者委員会モ同時ニ招集シ保証ニ関スル細目ヲ協定セシムルコトヲ決定スルト共ニ既電財政部報告ヲ基礎トセル三ヶノ議定書ヲ審議シ略々之ヲ確定シタル処更ニ伊国ヨリ異議出デ前貸金償還公債ヲ保証金額ニ加ヘザルコト及保証国ノ代表者ヲ監督機關ニ加フルコトヲ主張セル結果未決ノ儘散會セリ

二、右議定書第一ハ英仏伊「チェッコ」ヲ一方トシ塙国ヲ他方トスル宣言書ニ前記四ヶ国ハ(A)塙国ノ政治上ノ獨立領土保全及主權ノ尊重(B)塙国ノ獨立ヲ直接間接ニ害スルガ如キ財政上又ハ經濟上ノ特權又ハ独占ノ利益ヲ求メザルコト(C)塙国ノ財政經濟上ノ恢復ノタメ共通ニ締結セラルル協定ニ反シ又ハ債權者又ハ保証国ノ利益保障ノタメニ承諾セラ

レタル保証ヲ害スル凡テノ行為ヲナサザルコト(D)必要ナル場合ニハハ是等原則ノ尊重ヲ確定スルガタメニ採用スベキ方法ニ就キ理事会ノ意見ヲ求メ其決定ニ從フコトヲ宣言シ塙国ハ「サン・ゼルマン」条約第八八条ニ從ヒ獨立ヲ直接間接ニ害スベキ財政經濟上ノ交渉又ハ約束ヲ為サザルコトヲ約シ尚此約束ハ「サン・ゼルマン」条約ニ從ヒ關稅率及財政協定ニ関スル自由ヲ保留スルコトニ反スルモノニ非ズ然レ共或國ト特別ノ監督ニハ独占ノ利益ノ許与ニ依リ其經濟的自主ヲ害スルコト能ハザルモノナルコトヲ定ム

議定書第二ハ前記四ヶ国間ニ於テ保証ノ割合条件保証国代表者委員会ノ組織權限等ヲ定メ同第三ハ監督ノ承認財政及行政改革ニ関スル總テノ塙国ノ義務ヲ規定シ此義務ハ一九二三年一月一日以前ノ期間ニ関スル限り条件付ニシテ保証ニ就キ各国ガ議會ノ協賛ヲ經ル迄確定的トナラズト雖モ塙国政府ハ(A)欠損ノ増加ヲ防止スルタメニ全力ヲ尽シ(B)二年間政府ニ対シ予算均衡ノタメ必要ナル手段ヲ取ルニ付全權ヲ与フル法案ヲ議會ニ提出スルコト(C)改革案ヲ準備シ本年末迄ニ本案執行ノタメ第一段ニ必要ナル立法手段ヲ講ズルコトヲ確定的ニ約スル旨ヲ定ム尚第三協定ノ解釈ハ理事会

之ヲ司ルコトナレリ

英仏埃白へ郵送セリ

三九八 九月三十日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

理事会ニ於テ埃国救済問題ニ関シ從來ノ經過  
ヲバルフォア卿ヨリ聴取ノ旨石井理事會代表  
報告ノ件

第九九号

(十月一日接受)

石井理事會ヨリ

往電第九四号ニ関シ

埃国救済問題ハ伊国側ニテ訓令ヲ要スル点アリテ決定セズ  
伊国主席代表ハ至急帰国親ラ政府ニ説明ノ上二三日中ニ確  
答スルコトナレリ依テ三十日朝理事会ハ從來ノ經過ヲ小  
委員會議長「バルフォア」卿ヨリ聴取リ其儘午後ノ聯盟總  
會ニ列スルコトナレリ右「バルフォア」卿ノ説明要領ハ  
同總會電報ニ譲ル

本官ハ理事会残務ヲ安達大使ニ引継ギ十月一日帰巴ス  
英仏埃及白へ郵送セリ

四〇〇 十月一日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

八大産業国問題ノ決定公表竝独逸及洪牙利少  
数民族問題ニ関スル件

第一〇三号

(十月二日接受)

石井理事會ヨリ

九月三十日午後ノ理事会ニ於テ左ノ件ヲ可決シ且八大工業  
国問題ニ関スル決定ヲ公表ス

一、往電第二九号ノ五ニ関シ波蘭ニ於ケル独逸少数民族問  
題ニ付法律家ノ意見ヲ求メタル上單純ナル形式論ヨリ独  
逸人ノ不動産ノ上ニ有スル權利及波蘭国籍取得ノ權利ヲ  
失ハシムルガ如キコト竝

二、洪牙利、塞耳比国境問題ハ妥協点ヲ見出ス能ハズシテ  
居中調停ヲ試ムルノ余地ナキコト

ヲ大使會議ニ通牒ス

三、洪牙利ニ於テ大学教育ヲ受クル者ハ国家ニ對シ忠誠ニ  
シテ其ノ數ハ人種ノ數ニ比例セザルベカラズトノ法案ニ  
對シ猶太人ノ聯盟ニ愁訴シタル件ハ洪牙利側ヨリ右ハ却  
テ少数民族ノ權利ヲ保障シ同時ニ學問アル貧民ノ養成ヲ

六 國際聯盟理事会ニ関スル件(第十六回乃至第二十二回)

三九九 九月三十日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

總會ニ於テ埃国救済問題ニ関シバルフォア卿  
ノ為セル演說要領報告ノ件

第一〇〇号

(十月一日接受)

總會(三十日午後)ニ於ケル「バルフォア」卿ノ演說要領  
埃国救済ハ専門家ノ說ニ依レバ五億二千金「クローネ」ノ  
外債ヲ要ス外債ヲ得ルニハ埃国内政改良ト同国ノ存在ニ関  
スル世上ノ不安ヲ除去スル為保障ヲ要ス英、仏、伊「チェ  
コ」ノ四国ハ各々右金額ノ二割ヲ保障ス可キ処(残りノ)  
二割ハ他国ヨリ保障セラルル望ミ有リ右四国ハ埃国ノ獨立  
領土保全ヲ尊重シ埃国ニ對シ排他利益ヲ要求セザル旨ノ自  
制の宣言ノ Protocolヲ作用意有リ此宣言ニハ他国ノ參  
加ヲ希望ス内政改良借款使途等ニ就テハ聯盟ノ下ニ監督機  
関ヲ設クルヲ要ス埃国当局ハ右機關設置ヲ承認セリ以上ハ  
之迄ニ討議シタル經過ノ要点ナリ事業完了ノ上ハ公會ヲ開  
キ全部ヲ發表ス可シ  
仏、白へ郵報セリ

避ケントスルニ出ヅル旨ノ説明アリ

右法条ノ適用上教授ヲ派スルコトナレリ

英、仏、白等へ郵送セリ

四〇一 十月三日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

モロッコ及チュニス出生者ノ国籍ニ関スル英  
仏爭議ヲ國際司法裁判所ニ付託等ノ問題ニ関  
スル件

第一〇四号

(十月四日接受)

安達理事會ヨリ

一、往電第三〇号ニ関シ

「モロッコ」、「チュニス」ニ関スル英仏爭議ハ「バルフォ  
ア」「ブルジョア」ノ協定ニ基キテ右ノ件ハ規約第十五条  
第八項ニ所謂国内問題ナリヤ否ヤ國際司法裁判所ノ意見ヲ  
求ムルコトナレリ理事会ハ又右ノ件ガ國際問題ナリト決  
定セラレタル場合ニハ之ヲ仲裁又ハ判決ニ委スル旨ノ英仏  
ノ協定ヲ諒承シタリ

二、「アルメニア」人ニ関スル總會ノ決議ヲ主要同盟国ニ  
移牒ス

四〇〇 四〇一

四三三

六 國際聯盟理事会ニ関スル件（第十六回乃至第二十二回）

四〇二

四三四

三、「フーヴァー」ノ救済団体ガ「ダンチッヒ」ヲ引揚ゲントスルニ当リ之ニ感謝ノ意ヲ表スル様事務総長ニ委嘱ス  
四、往電第七〇号一ノ（d）ニ関シ

關係国ニ援助ヲ依頼ス又其二ノ（d）ニ関シ専門委員会ヲ速ニ開ク様右委員会ノ議長ニ委嘱ス

五、往電第八五号ノ二ニ関シ

其実施手段ヲ取ルコトヲ事務総長ニ委嘱ス又右電報ノ一ニ關シ理事会ヨリ各国ノ援助ヲ求ムルコトトス

六、露国事情ニ関スル事務局ノ調査報告ヲ印刷配付スルコトヲ予メ認許ス

七、「アルバニア」ノ財政顧問トシテ白耳義人「バン、ジーランド」ガ適任ナレバ之ヲ任命スルコトヲ財政部長ニ委任ス

四〇二 十月五日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

軍備制限的協力委員会事業埃国救済問題等

討議報告ノ件

第一〇六号

（十月六日接受）

安達理事ヨリ

害關係国間ニ意見ノ合致ヲ見ズ延期トナル

五、往電第九七号ニ関シ埃国救済問題ニ関スル小委員会ハ伊国ノ主張ニ顧ミ埃国救済借款金額ヲ六億五千万「クローネ」トシ英仏伊「チェッコスロヴァキア」ノ四国ハ其ハ割四分ヲ保証シ其分担割合ハ追テ決定スルコトトシ右金額ノ内一億三千万ハ前貸金償還公債ナレハ伊太利ヲ除ケル三国ニテ各其三分ノ一ヲ保証スルコトトシ監督委員会ニ付テハ四大保証国各二十票ノ投票権ヲ有スル委員ヲ任命シ保証ニ加盟スル国ハ其保証ノ割合ニ応スル投票権ヲ任命スル権アルコトトシテ左ノ議定書ヲ確定シ理事会ニ提出スル所アリ  
理事会ハ之ヲ是認シ之ヨリ發生スル義務ヲ受諾シ列国ニ保証加盟方ヲ勧誘シ埃国救済問題ニ関スル小委員会ヲ繼續セシメ保証国ノ代表者ヨリ成ル監督委員会ノ議長ヲ伊太利人副議長ヲ「チェッコスロヴァキア」人ヨリ選任シ維也納ニ駐在スヘキ *Commissaire Général* トシテハ四大保証国及埃国隣接国以外ノ国ヨリ選任スルコトニ決定シ其結果ヲ此際理事会ニ於テ公表シタリ

四〇三 十月十四日

在巴里松田聯盟帝國事務局長ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

六 國際聯盟理事会ニ関スル件（第十六回乃至第二十二回）

四〇二

四三四

四日ノ理事会ニ於テ左ノ件ヲ決定シタリ

一、往電第七二号ニ関シ其六ヲ是認シ一ヲ各国政府ニ移牒シテ意見ヲ求メ二ノ実施ノ為メ關係国ノ意向ヲ探ルコトヲ事務総長ニ依頼シ五ヲ了承シ其他ノ總會決議ヲ第三委員会ニ附託シ理事会トシテハ審議ヲ延期ス因ニ混成委員ハ十一月会合ノ答

二、往電第六七号ニ関シ知的協力委員会ニ第二委員会ノ報告及總會ノ決議ヲ移牒シ右往電ノ三ニ関シ各国ニ加盟勧誘方ヲ理事会議長ニ依頼シ其四ニ関シ埃地利人ノ一注視人ヲ任命スルコト及埃国ノ為メニ各国ノ教会等ノ同情ニ訴フルコトヲ知的協力委員会ニ依頼シ尚又文書其他研究用器具ノ交換ニ関シ学者及学会等ノ緊切ナル要求ヲ知的協力委員会ニ通報スル任務ヲ有スル各国内ノ地方的機關ヲ指定スル為メ準備調査ヲ為スコトヲ右委員会ニ依頼ス

三、規約改正決議ノ内第六条ニ関スル第二及第三決議ハ最早批准ノ要ナキニ至リタレハ之ヲ除キ其他全部ヲ批准スル様第六条ヲ批准スル様且又第六条ニ関スル第一決議及第四条ノ改正決議ノ批准ヲ特ニ急グ様聯盟国ニ要望スルニ決ス四、「パレスタイン」ノ聖地ニ関スル委員会構成ノ件ハ利

埃国借款保証ニ本邦不参加ノ件

聯第一八四号

（十月十五日接受）

寿府全權發往電第九一号ニ関シ  
未ダ御回訓ニ接セザル処十三日聯盟事務局員「ズニー」氏ヨリ日本側ニ埃国借款ノ保障ニ参加スル希望アリヤ至急確答ヲ求メ来リタルヲ以テ日本ハ其地理的關係及国内ノ經濟的事情ニ依リ保障ニ参加シ得ザル旨回答シ置キタルニ付右ニ御承知ヲ請フ

四〇四 十一月八日  
在巴里松田聯盟帝國事務局長ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

ブダペスト理事会終了通知ノ件

聯第一九六号

（十一月九日接受）

往電聯第一八一号ニ関シ

國際聯盟協會ヘ美濃部其ノ他ノ理事ヨリ

「ブダペスト」理事会客月二十日ヨリ同二十二日迄開會議了セル重ナル事項左ノ如シ

本邦委員提出ノ通商衡平待遇問題ハ經濟問題常設委員会ニ附託シ研究ノ上次回總會ニ報告セシムルコト

四〇三 四〇四

四三五

尚軍備制限常設委員會及少數民族常設委員會ヲ設ケ夫々關係諸問題ヲ附託シ次回總會迄ニ研究セシムルコト  
而シテ經濟及軍備制限委員會ニ本邦委員参加スルコトトナリ前者ニハ乾理事出席スヘク後者ニ関シテハ目下人選中又

理事局一部改選ノ結果會長瑞典人 Adelswardt 同副會長洪牙利人 Appougl 伯及安達峯一郎氏當選ス



## 事項七 第三回國際聯盟總會ニ関スル件

四〇五 五月四日 在巴里松田聯盟帝國事務局長ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

イーマンス理事會議長代理ノ聯盟總會招集ニ

關スル件

別 電 同日松田聯盟帝國事務局長宛内田外務大臣宛電

報聯第七六号

第三回聯盟總會議題ニ関スル件

聯第七五号

(五月六日接受)

第三回聯盟總會ニ関シ事務總長ハ五月四日附貴大臣宛書翰ヲ以テ理事會議長代理「イーマンス」(白国理事)ニ於テ總會議事規則第一条及第三条ニ依リ来ル九月四日午前十一時「ゼネヴァ」ニ總會ヲ招集スル旨ヲ報ジ且別電第七六号總會議題ヲ送付スルト共ニ議事規則第四条第三項ニ基キ聯盟國ニ於テ上程ヲ希望スル新議題アラバ開會一ヶ月前事務局宛宛通報方申来レリ尚爾今總會關係書類ハ第三聯總ノ符牒ヲ附シ事務局ヨリ入手ノ都度転送ノ筈  
在欧米各大使及在瑞西大使へ郵報セリ

(別 電)

五月四日松田聯盟帝國事務局長宛内田外務大臣宛電報聯第七六

七 第三回國際聯盟總會ニ関スル件 四〇五

号

第三回聯盟總會議題ニ関スル件

聯第七六号 (別電)

(五月六日接受)

- 一、代表者信任状審査報告委員ノ選舉
- 二、議長一名及副議長六名ノ選舉
- 三、議事日程ノ審査及選択
- 四、各種委員會ノ任命
- 五、理事會及事務局ノ事業並ニ總會決議ノ実行ニ関スル一般報告
- 六、規約第十条改正
- 七、規約第十八条改正
- 八、「ハンガリー」ノ國際聯盟加入請求及規約第一条第二項ニ從ヒ受理ス可キ加入ノ諸請求
- 九、國際語トシテノ「エスペラント」
- 一〇、軍備縮少ニ関スル臨時委員會報告
- 一一、聯盟各種專門機關ノ事業報告
- a 仮經濟財政委員會
- b 交通委員會